



# 2024年3月期 決算説明資料

## (事業計画及び成長可能性に関する事項)

2024.05.13 | 株式会社カオナビ (東証グロース: 4435)

# ワークスタイルテック社（WST社）によるインシデントについて

- 2024年3月29日付け公表の通り、当社子会社であるWST社において、同社のお客さまの個人情報が限定された特定の条件下において外部から閲覧可能な状態にあり、また、そのうちの一部が漏えいしていたことが判明いたしました。お客さまをはじめとする関係者の皆さまに対し、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。
- 現在、漏えいした情報の事実確認を行っており、個人情報の漏えいが判明した該当者の皆さまに対し、随時個別の通知を実施しております。
- 個人情報保護委員会に対しては、2024年3月29日に報告し、その後も要請に応じて随時報告を行っております。引き続き最終的な事実確認に向けた調査を進めるとともに、再発防止策も含めた最終報告書を個人情報保護委員会に提出する予定です（2024年5月末を目途）。
- 本件に係る業績への影響については精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。
- 中期経営方針で掲げた人材データプラットフォームの拡大に向けて、2025年3月期は当社による労務管理システムの提供及び運用体制の構築に取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 1. トピックス

2. 中期経営方針の進捗状況

3. 2024年3月期 第4四半期実績

4. 2025年3月期 業績見通し

5. 補足資料

5-1. 会社概要

5-2. サービス概要

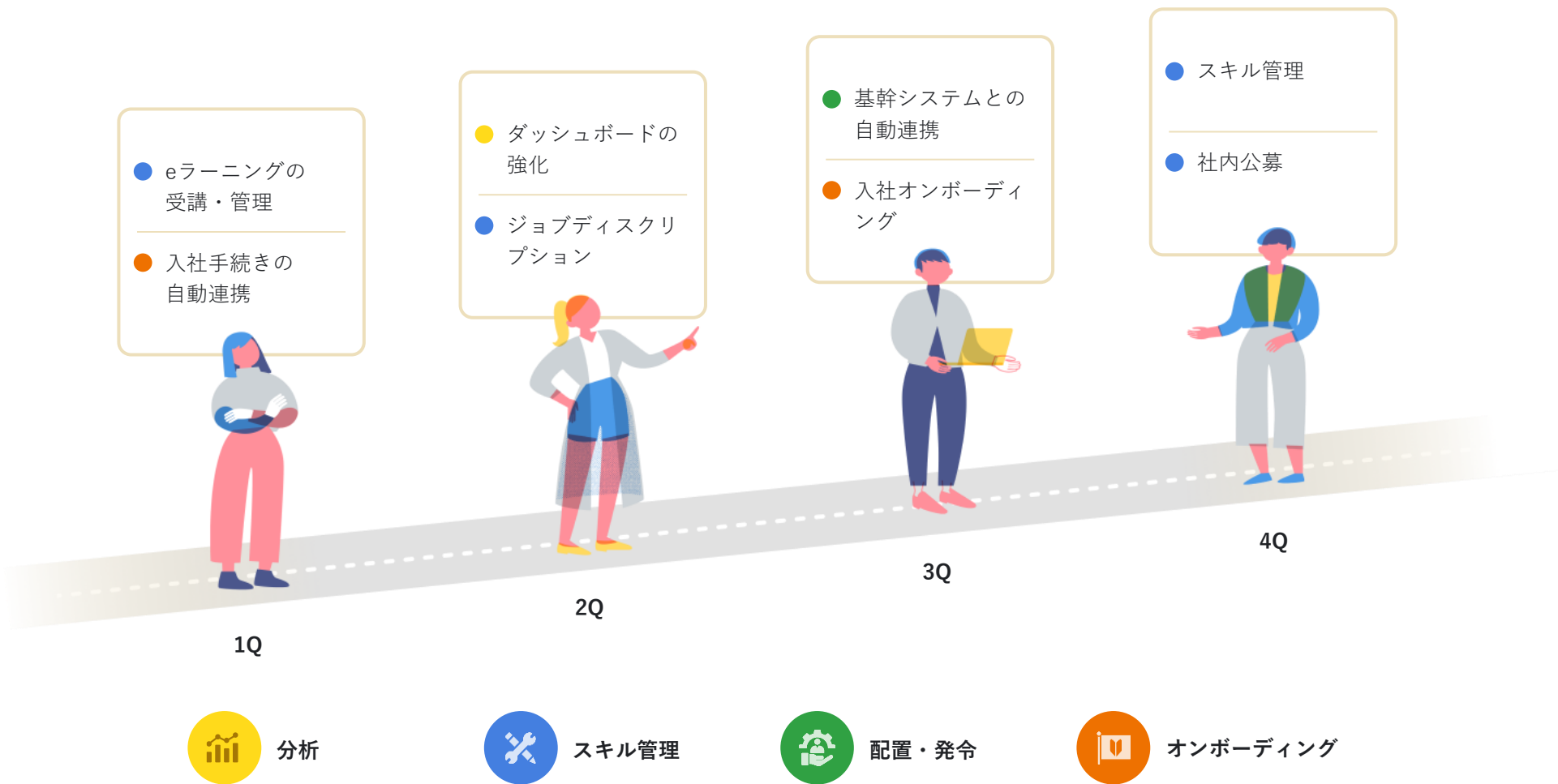
5-3. 中期経営方針

5-4. “はたらく”の未来とカオナビ

“はたらく”にテクノロジーを実装し  
個の力から社会の仕様を変える

# 主要な開発ロードマップ (FY24/3)

新機能や新サービスの開発を通じて、人材データプラットフォームとしての価値向上に注力



# 新機能のリリース

スキル管理機能として「アビリティマネージャー」をリリース



新機能

## アビリティマネージャー

スキルの定義から見える化までを  
ワンストップで実現



# 新機能のリリース

「ポジションマッチング」に社内公募機能を追加。募集要項を登録して社内募集することで、適材適所と従業員のキャリア自律を促進

**1**

## ポジション要件の定義



基本情報	職種	経験年数
1	+	3年0~
2		マネジメント経験年数 3年~
3		マネジメント経験年数 5年~
4		新規プロジェクトプロジェクト経験 3プロジェクト~
5		基本情報 役職 マネージャー一般
6		基本情報 経験年数 3年0ヵ月~

**2**

## 候補者抽出



**3**

## 社内公募



所属	DX推進室
カテゴリ	DX関連
定員	3名
業務内容	社内DX化案件の推進メンバーとして、業務効率化を実現するプロジェクト企画や新しい働き方の設計、全社展開の推進を担当していただきます。 ○社内の業務効率化サポート ○社内基幹システムの追加開発・保守 ○各種ITツールなどを活用したDX推進
募集期間	2023/08/15~2023/09/24
募集要項	・システム開発のプロジェクトリーダーおよびそれに準ずる役割のご経験のある方 ・数字に基づいた分析や意思決定に積極的に取り組める方 ・異りと協調して業務を進めることができる方

# 新サービスのリリース

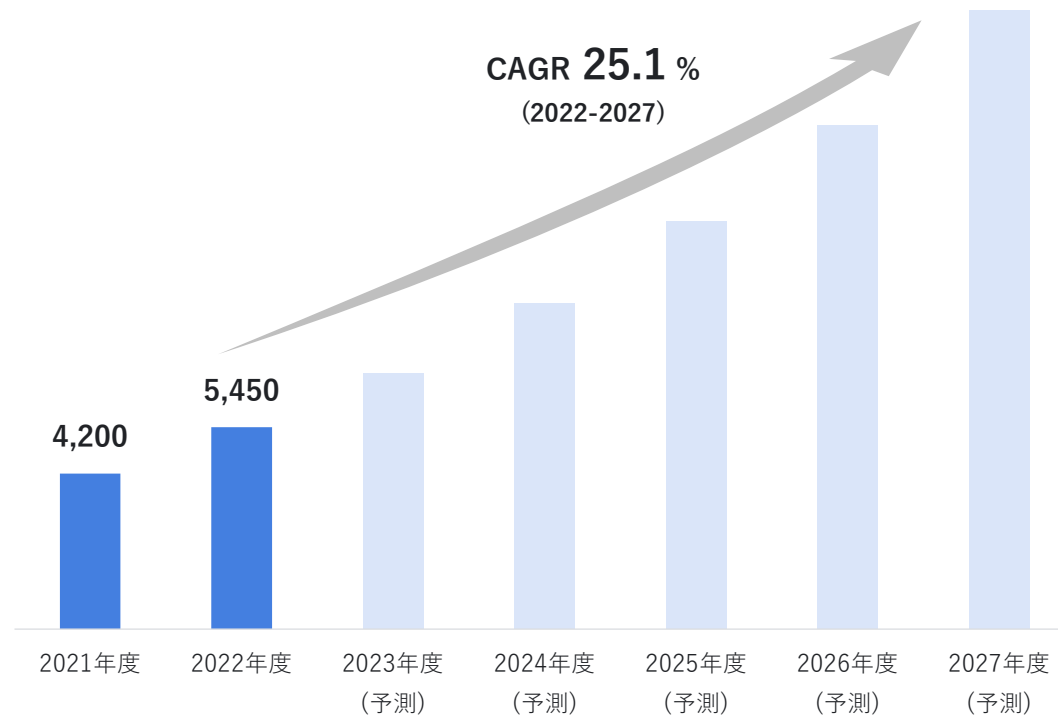
予実管理業務を支援する「ヨジツティクス」をリリース。今後は人材データベースと連携した要員計画の機能も追加予定



	1Q		2Q		3Q		対
	予算	実績	予算	実績	予算	実績	
売上	343,966	295,942	331,718	279,933	260,997	281,417	32
既存事業売上	240,734	207,159	232,203	195,953	182,698	196,992	22
新規事業売上	103,172	88,783	99,515	83,980	78,299	84,425	9
売上原価	230,417	186,443	222,251	193,154	174,868	196,992	19
売上総利益	113,489	109,499	109,467	86,779	86,129	84,425	12
売上総利益率	33%	37%	33%	31%	33%	30%	
経管費	306,076	272,247	291,912	246,341	237,507	258,904	28
人件費	146,917	130,688	140,118	118,244	114,003	124,274	13
交通費	15,204	13,613	14,596	12,317	11,875	12,945	1
採用研修費	9,182	6,165	6,757	7,390	7,125	7,767	
外注費	24,486	21,781	23,353	19,707	19,001	20,712	2
販売手数料	36,729	32,672	35,029	29,561	28,501	31,068	3
広告宣伝費	30,608	27,227	29,191	24,634	23,751	25,890	2
交際費	4,591	4,084	4,379	3,495	3,563	3,884	
通信費	1,530	1,361	1,460	1,232	1,188	1,295	
減価償却費	6,122	5,445	5,838	4,927	4,750	5,178	
家賃・水道光熱費	18,345	16,336	17,515	14,780	14,250	15,534	1
その他	12,243	10,891	11,676	9,854	9,500	10,356	1
営業利益	37,830	23,675	39,806	33,992	23,490	22,513	3
営業利益率	11%	8%	12%	12%	9%	8%	

## 予算管理 (SaaS) の市場規模

百万円



出所：ITR「ITR Market View：予算・経費・サブスクリプション管理市場2024」



# 新サービスのリリース（予定）

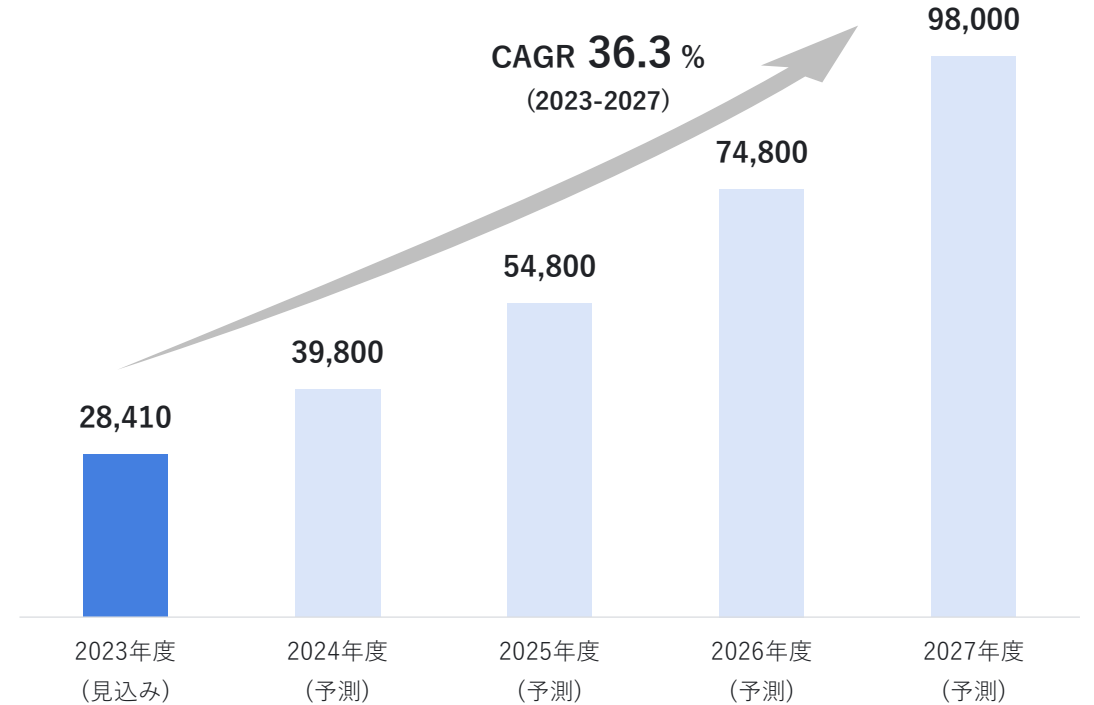
労務管理業務をペーパーレスで完結できる「カオナビ労務（仮称）」のサービス提供開始時期が当初の計画よりも後ろ倒しになるものの、今夏でのリリースを目指して開発を促進中

## カオナビ労務（仮称）



労務管理クラウドの市場規模（2027年度までの予測）

百万円



出所：デロイトトーマツ ミック経済研究所「HRTechクラウド市場の実態と展望 2023年度版」



1. トピックス

## 2. 中期経営方針の進捗状況

3. 2024年3月期 第4四半期実績

4. 2025年3月期 業績見通し

5. 補足資料

5-1. 会社概要

5-2. サービス概要

5-3. 中期経営方針

5-4. “はたらく”の未来とカオナビ

# 中期経営方針：継続的なARRの成長



## 利用企業数の拡大

組織体制の強化

認知度の向上

パートナーの活用



## ARPUの向上

エンタープライズ企業の増加

アップセルの促進

人材データプラットフォームの拡大

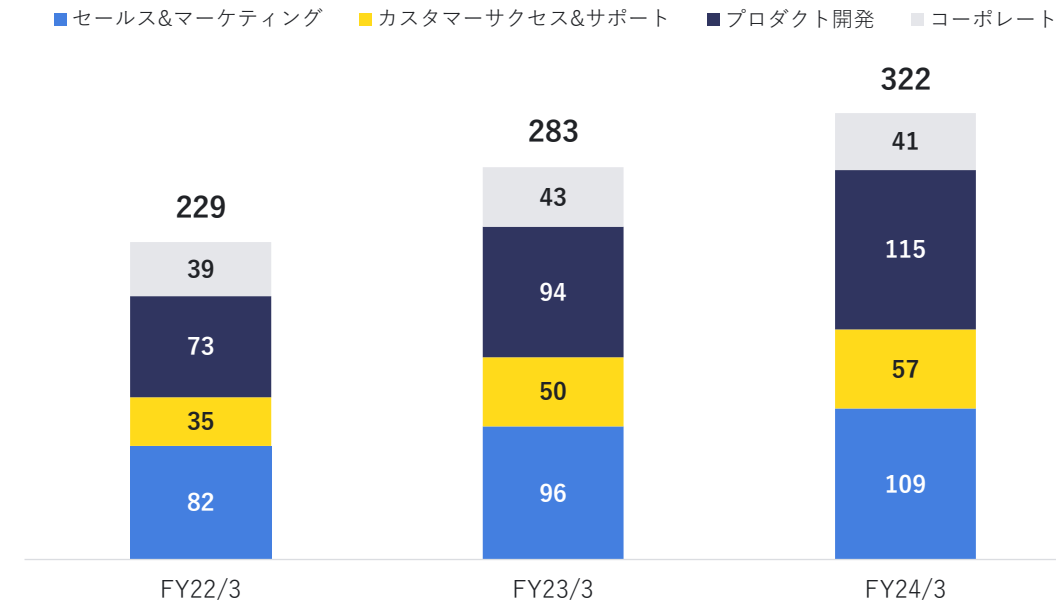
# 中期経営方針に係る施策の実施状況

利用企業数の拡大に向けて、組織体制の強化や認知度の向上を図る

## 組織体制の強化

フロントやプロダクト開発の部門を中心に人員増強を図り、組織体制の強化を継続

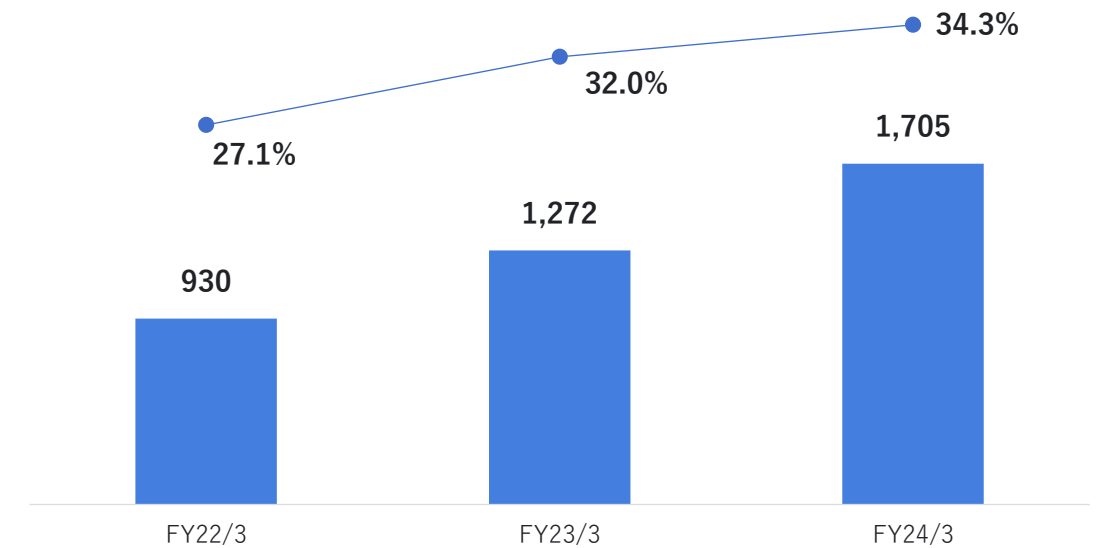
従業員数の推移\*1（単位：名）



## 認知度の向上

認知度拡大のための継続的なマーケティング活動を実施

マーケティング関連費用と認知率の推移（単位：百万円）



調査委託先：マクロミル

回答者：20-69歳の人事職の男女330人

調査期間：FY22/3：2022年4月1日～4月5日、FY23/3：2023年3月24日～3月28日、FY24/3：2024年3月22日～3月25日

\*1：2023年3月期までは単体数値、2024年3月期は連結数値

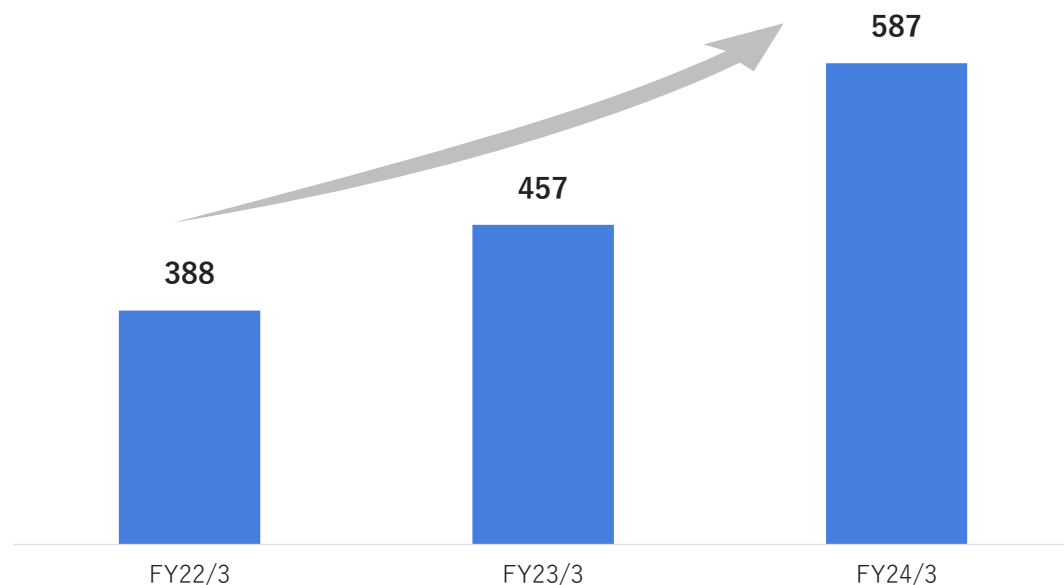
# 中期経営方針に係る施策の実施状況

ARPUの向上に向けて、機能強化を推進しエンタープライズ企業の増加を図る

## エンタープライズ企業の増加

機能強化に伴い、エンタープライズ企業の純増ペースが加速

利用企業数（登録人数1,000人以上）（単位：社）



## 導入顧客（一部抜粋）



\* 2024年3月末時点

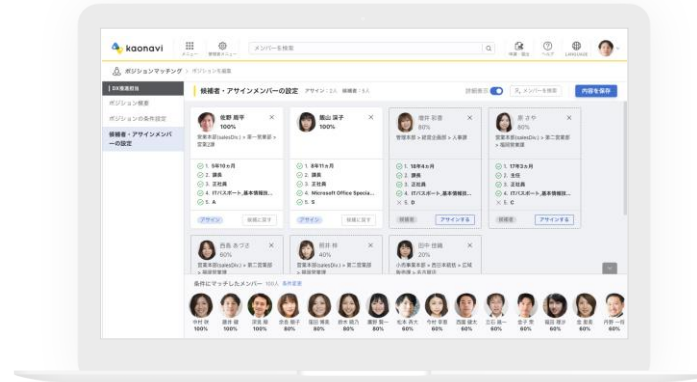
# 中期経営方針に係る施策の実施状況

新機能や新サービスの開発を通じて、人材データプラットフォームの価値向上に注力

ラーニングライブラリ



ポジションマッチング



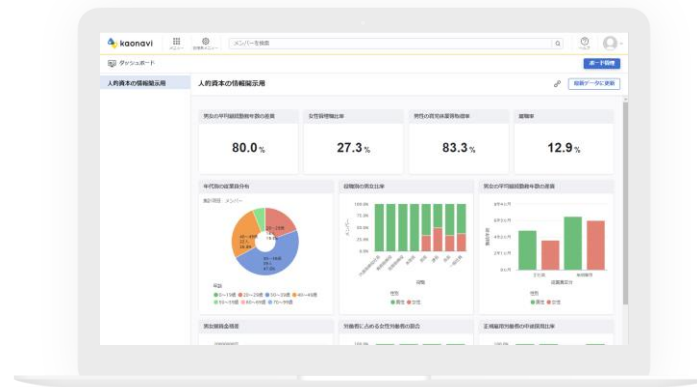
人的資本データnavi



マイボード



人的資本テンプレート



カオパス



# 中期経営方針に係る施策の実施状況

機能開発やWST社の子会社化など、人材データプラットフォームの拡大を推進



# 人材データプラットフォームの強化

FY25/3は主に下記テーマの開発を行うことで、人材データプラットフォームのさらなる価値向上を目指す

人的資本情報の活用	<ul style="list-style-type: none"><li>• グラフと集計機能を継続的に拡充</li><li>• 社員の履歴情報をグラフィカルに表示</li><li>• AIを利用したテキスト分析</li></ul>
個人のエンパワーメント	<ul style="list-style-type: none"><li>• 集合研修の管理</li><li>• 階層化したスキルの収集・分析</li></ul>
配置から発令までの自動化	<ul style="list-style-type: none"><li>• 配置検討に関する業務の効率化</li><li>• 発令情報の社内通達</li></ul>
会社と社員の関係性をDX化	<ul style="list-style-type: none"><li>• ワークフロー機能の改善</li><li>• 労務管理の追加機能開発</li></ul>





1. トピックス

2. 中期経営方針の進捗状況

## 3. 2024年3月期 第4四半期実績

4. 2025年3月期 業績見通し

5. 補足資料

5-1. 会社概要

5-2. サービス概要

5-3. 中期経営方針

5-4. “はたらく”の未来とカオナビ

# ハイライト

- **WST社の子会社化に伴い連結決算を開始**

みなし取得日は2024年3月31日

- **売上高、調整後営業利益は通期業績予想を上回って着地**

第4四半期の売上高はYoY 26.9%増、調整後営業利益はYoY 81.5%増と好調に推移

- **特別損失、繰延税金資産の計上**

保有する投資有価証券の一部について、投資有価証券評価損27百万円を特別損失として計上

繰延税金資産を計上することで、法人税等調整額（益）290百万円を計上

- **ARRは堅調な成長が継続**

タレントマネジメントシステム（TMS）のARRは8,112百万円（YoY 27.4%増）と堅調に成長

TMSの解約率（直近12ヶ月平均）は0.42%となり、引き続き低水準を維持

機能改善や新機能開発により、この1年でエンタープライズ企業の導入が加速

# 決算サマリー\*1 (2024年3月期 第4四半期)

百万円	FY23/3 4Q (前年同期)	FY24/3 3Q (前四半期)	FY24/3 4Q (当四半期)	前年同期比	前四半期比
売上高	1,651	1,933	<b>2,095</b>	+26.9%	+8.4%
売上総利益	1,171	1,516	<b>1,656</b>	+41.4%	+9.2%
利益率	70.9%	78.5%	<b>79.0%</b>	+8.1pt	+0.6pt
調整後営業利益*2	118	234	<b>214</b>	+81.5%	-8.9%
利益率	7.1%	12.1%	<b>10.2%</b>	+3.1pt	-1.9pt
営業利益	60	228	<b>177</b>	+196.9%	-22.3%
利益率	3.6%	11.8%	<b>8.4%</b>	+4.8pt	-3.3pt
経常利益	59	227	<b>175</b>	+199.0%	-22.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	74	156	<b>417</b>	+463.0%	+167.6%

\*1：2024年3月期第3四半期までは単体決算、同第4四半期は連結決算

\*2：調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aによるのれん償却費＋その他一時費用

# 決算サマリー\*1 (2024年3月期 通期)

百万円	FY23/3 (実績)	FY24/3 (実績)	FY24/3 (業績予想)*3	前期比	業績予想比
売上高	5,990	<b>7,625</b>	7,600	+27.3%	+0.3%
売上総利益	4,420	<b>5,903</b>	5,875	+33.5%	+0.5%
利益率	73.8%	<b>77.4%</b>	77.3%	+3.6pt	+0.1pt
調整後営業利益*2	474	<b>814</b>	765	+71.7%	+6.4%
利益率	7.9%	<b>10.7%</b>	10.1%	+2.8pt	+0.6pt
営業利益	322	<b>679</b>	—	+110.7%	—
利益率	5.4%	<b>8.9%</b>	—	+3.5pt	—
経常利益	317	<b>675</b>	—	+112.9%	—
親会社株主に帰属する当期純利益	246	<b>699</b>	—	+183.5%	—

\*1：2023年3月期は単体決算、2024年3月期は連結決算

\*2：調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aによるのれん償却費＋その他一時費用

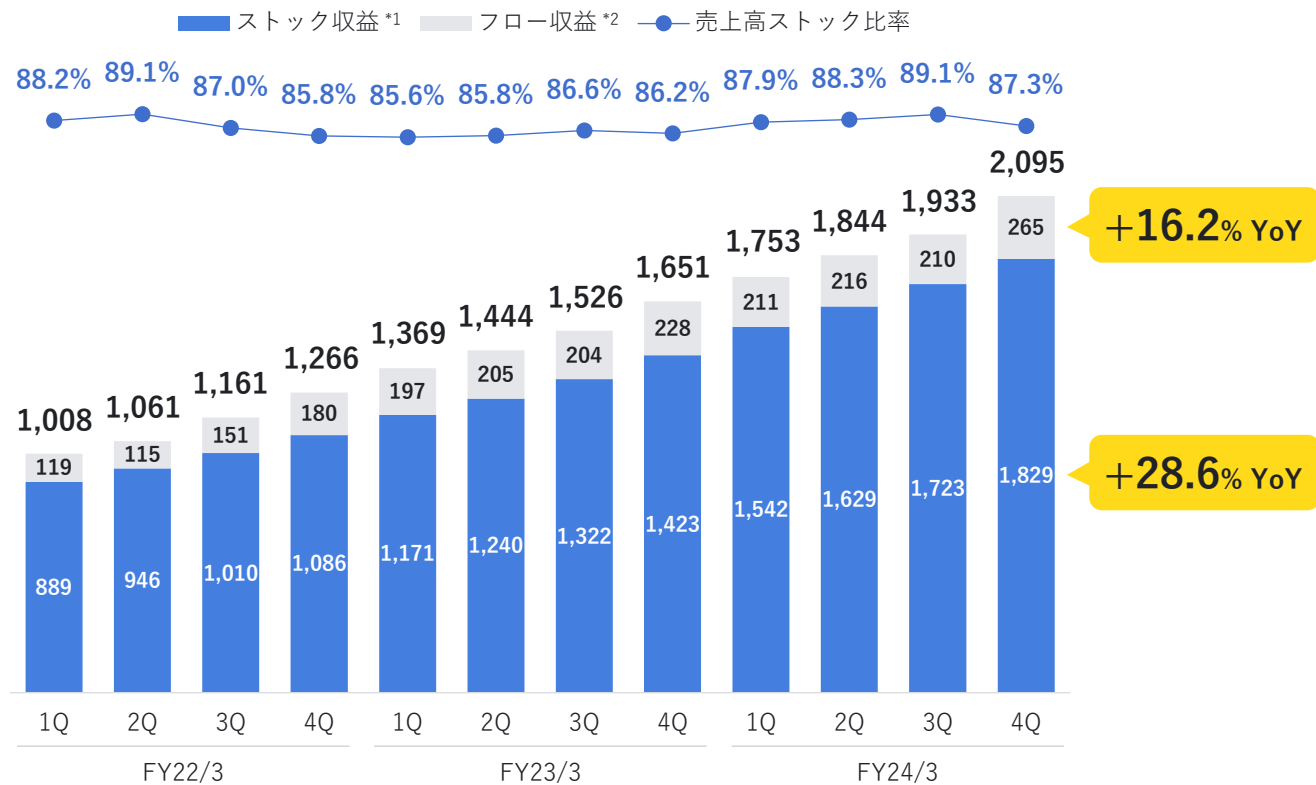
\*3：2024年2月14日付けの修正業績予想

# 売上高

ストック収益とフロー収益は前年同期比でそれぞれ+28.6%、+16.2%の増収

## 売上高

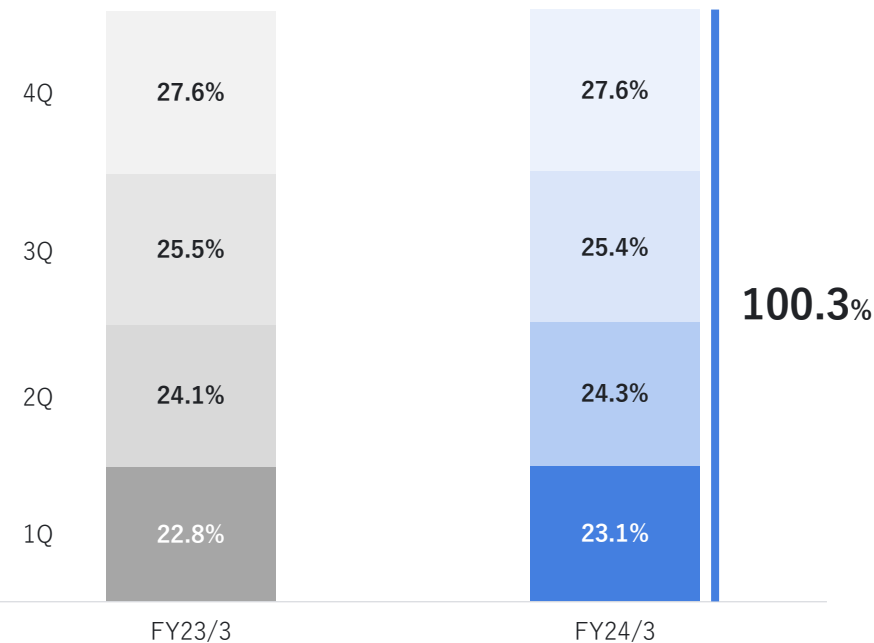
百万円



## 通期業績予想に対する進捗率

実績 5,990 百万円

業績予想 7,600 百万円



\*1: サブスクリプションサービスの月額利用料から計上される売上高

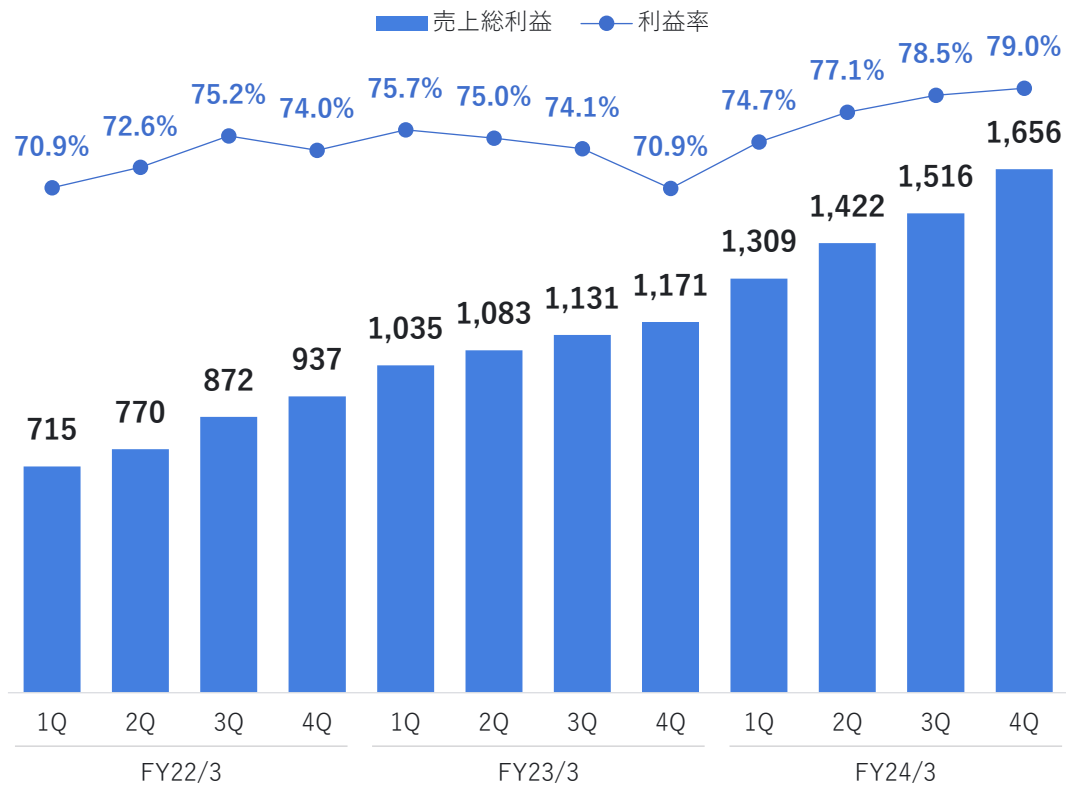
\*2: 初期費用、有償サポート等から計上される売上高

# 売上総利益・売上原価

機能改善など開発計画を着実に遂行。売上総利益は継続的に成長し、利益率は79.0%に向上

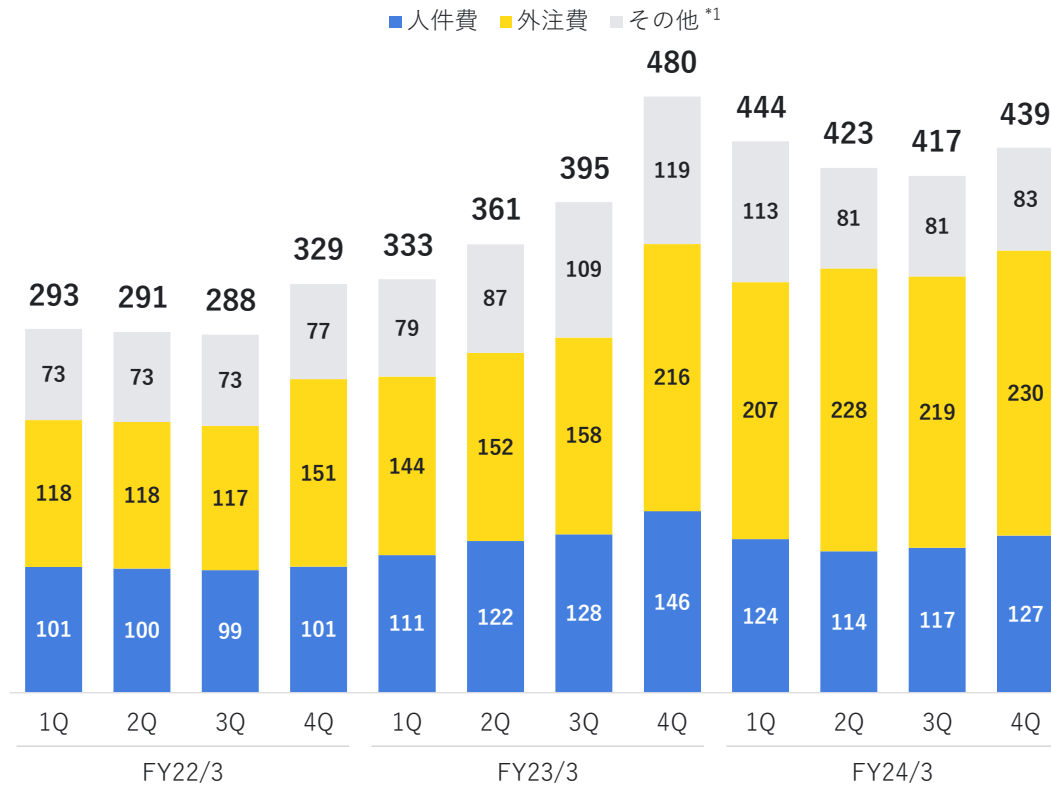
## 売上総利益

百万円



## 売上原価

百万円



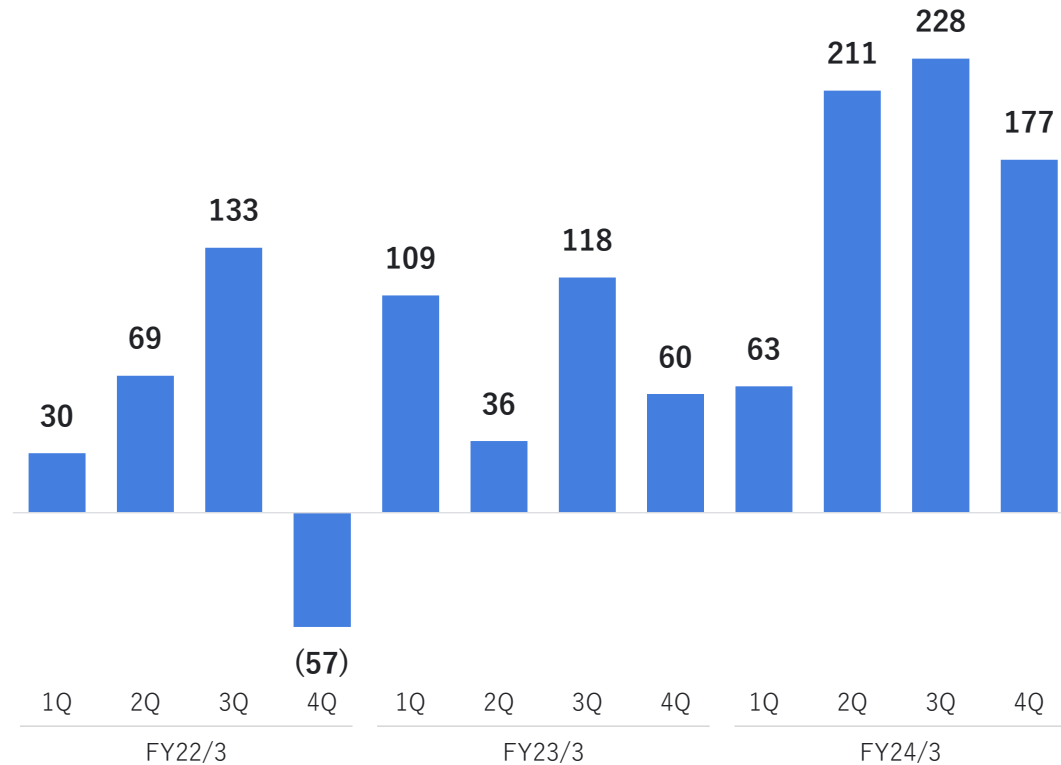
\*1: 当四半期における「その他」の主な内訳は、地代家賃18百万円、サーバー費58百万円

# 営業利益・販管費

好調なKPI推移を受けてマーケティング投資を拡大したことで、広告宣伝費が増加

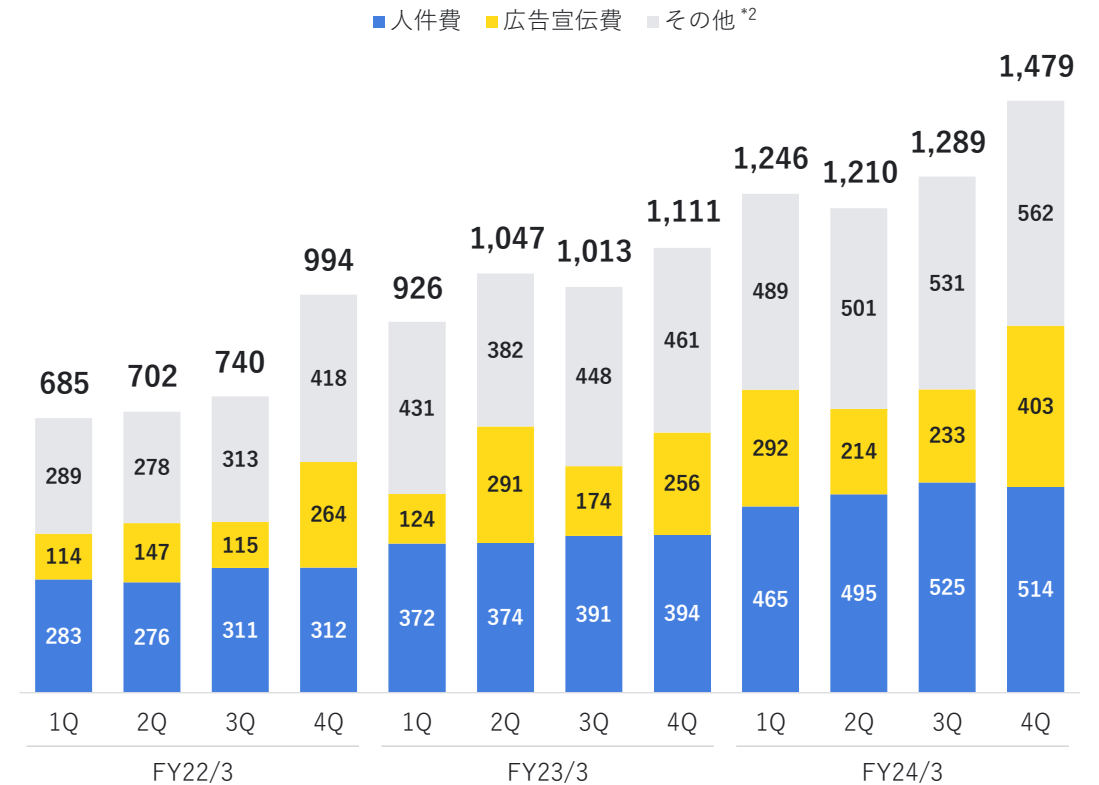
## 営業利益

百万円



## 販管費\*1

百万円



\*1：当四半期におけるS&M、R&D、G&Aの対売上高比率は、それぞれ42.2%、11.1%、17.3%。各費用の定義はP65を参照

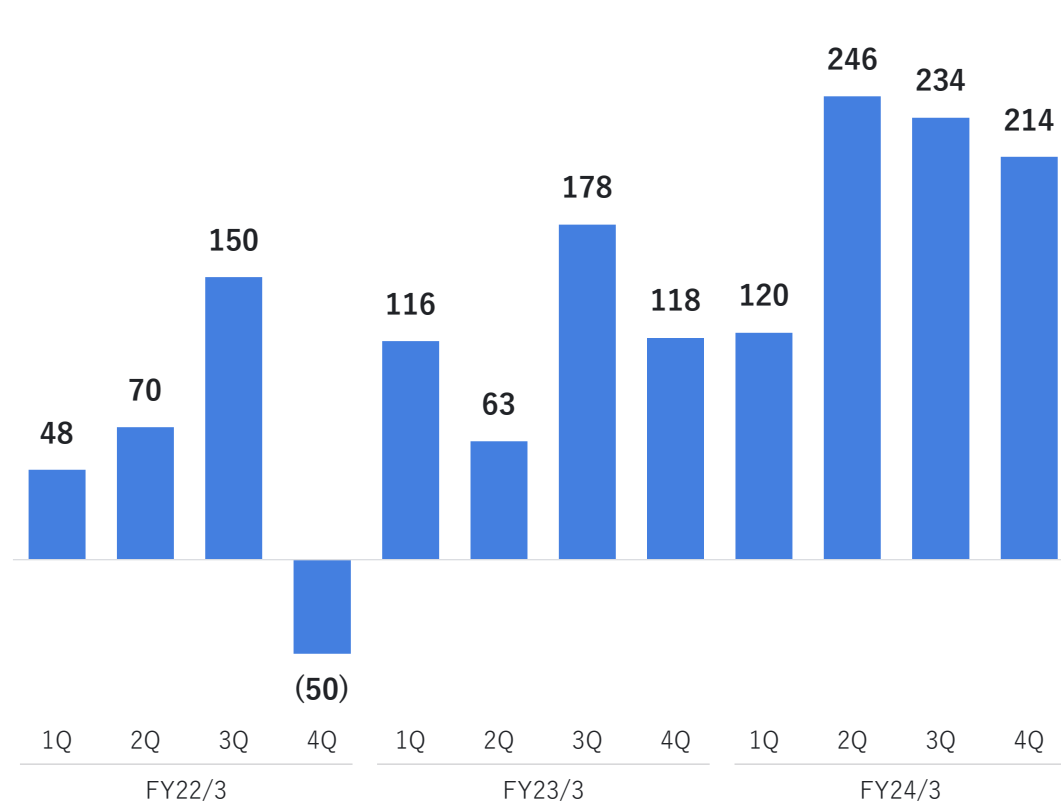
\*2：当四半期における「その他」の主な内訳は、地代家賃38百万円、業務委託費171百万円、販売促進費122百万円、採用費53百万円、通信費52百万円

# 調整後営業利益

調整後営業利益は堅調に増加し、前年同期比で+81.5%の増益

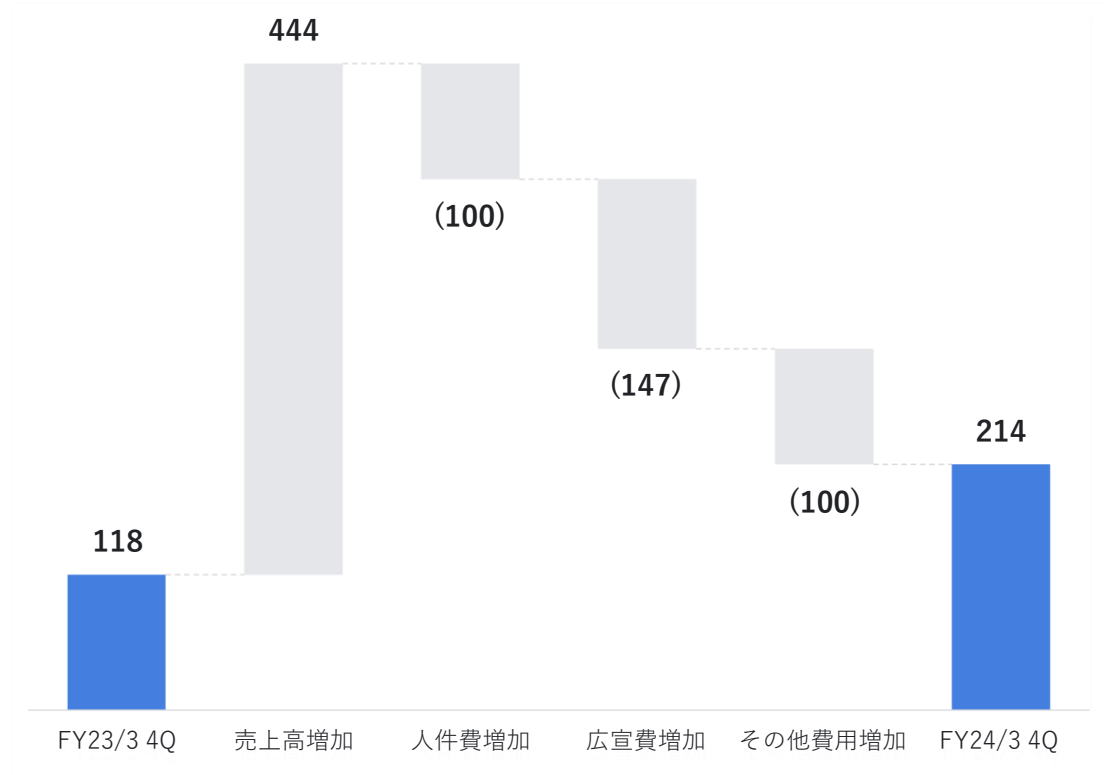
## 調整後営業利益\*1

百万円



## 増減分析 (対前年同期)

百万円



\*1: 調整後営業利益 = 営業利益 + 株式報酬費用 + M&Aによるのれん償却費 + その他一時費用

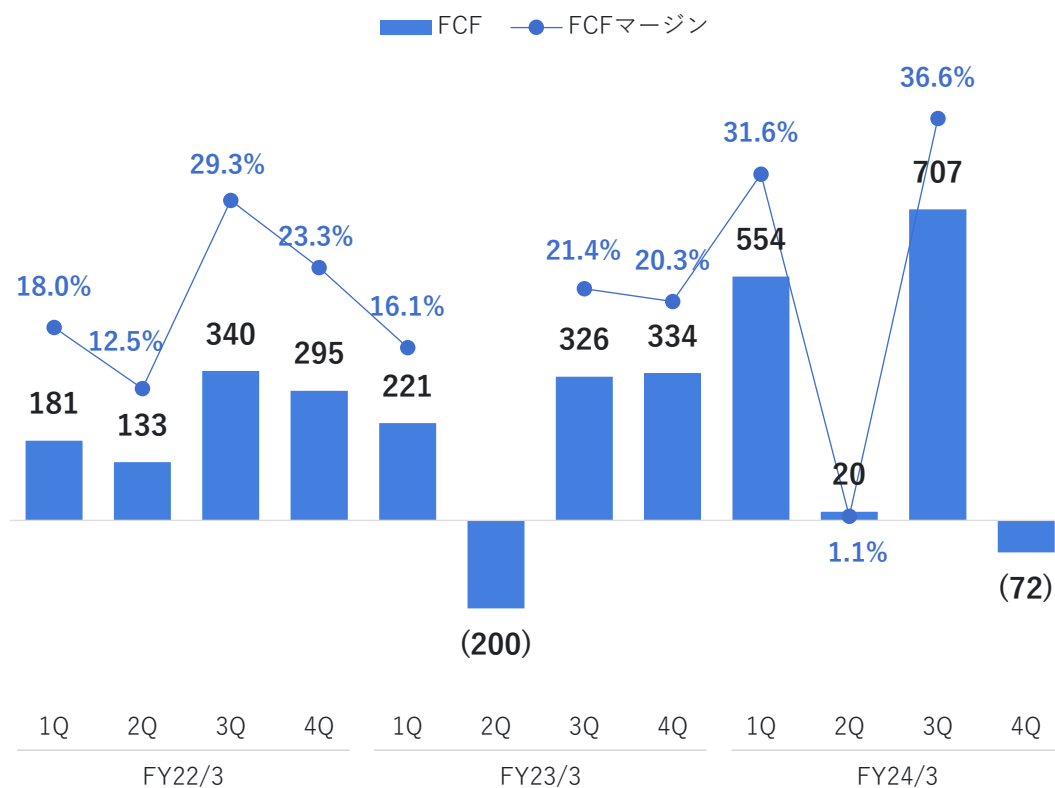


# フリーキャッシュフロー・貸借対照表\*1

WST社の子会社化により投資CFが増加し、B/Sではのれんを615百万円計上

## FCF

百万円



## B/S

百万円

	FY23/3		FY24/3		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<b>現預金</b>	<b>3,400</b>	<b>3,922</b>	<b>3,912</b>	<b>4,355</b>	<b>4,688</b>
その他流動資産	483	495	555	506	582
有形固定資産	89	58	38	41	42
無形固定資産	6	5	4	2	630
投資その他の資産	646	622	617	339	601
<b>資産合計</b>	<b>4,623</b>	<b>5,102</b>	<b>5,125</b>	<b>5,243</b>	<b>6,544</b>
有利子負債	327	296	264	—	418
前受収益	2,073	2,490	2,410	2,620	2,693
その他負債	732	795	825	836	1,121
<b>負債合計</b>	<b>3,132</b>	<b>3,580</b>	<b>3,499</b>	<b>3,456</b>	<b>4,232</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,491</b>	<b>1,522</b>	<b>1,627</b>	<b>1,787</b>	<b>2,312</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,623</b>	<b>5,102</b>	<b>5,125</b>	<b>5,243</b>	<b>6,544</b>

\*1：2024年3月期第3四半期までは単体決算、同第4四半期は連結決算

# KPIサマリー

## 連結

ARR\*1

**8,288** 百万円

(+30.1% YoY)

\* 前年同期（単体）との比較

従業員数\*2

**322** 名

(+39名 YoY)

\* 前年同期（単体）との比較

## カオナビ単体

TMSのARR\*3

**8,112** 百万円

(+27.4% YoY)

TMSの利用企業数\*4

**3,677** 社

(+20.2% YoY)

TMSのARPU\*5

**184** 千円

(+6.0% YoY)

TMSの解約率\*6

**0.42** %

(-0.09pt YoY)

LTV/CAC\*7

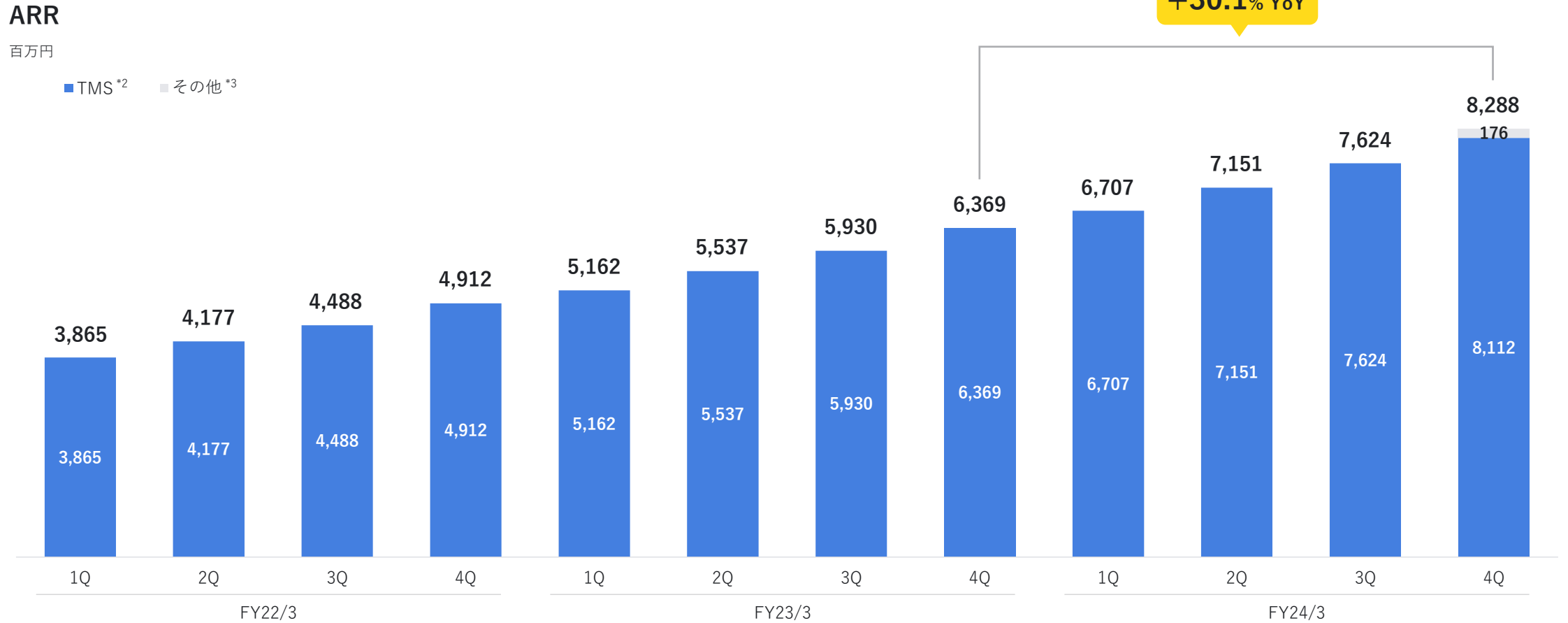
**10.4** x

(+1.2pt YoY)

- \*1：四半期末のMRR（Monthly Recurring Revenueの略で月額利用料の合計）に12を乗じた金額  
MRRは顧客契約プランの月額利用料に対して、新収益認識基準や無料期間の按分等を考慮しない管理会計上の数値
- \*2：四半期末の正社員の数
- \*3：四半期末のタレントマネジメントシステム「カオナビ」から計上されるMRR（TMSのMRR）に12を乗じた金額
- \*4：四半期末のタレントマネジメントシステム「カオナビ」を導入している企業や団体の数
- \*5：Average Revenue Per Userの略で、四半期末のTMSのMRRをTMSの利用企業数で除した金額
- \*6：TMSのMRR解約率の直近12ヶ月平均
- \*7：カオナビ単体のLTV（Lifetime Valueの略で顧客生涯価値）とCAC（Customer Acquisition Costの略で顧客獲得単価）の比率の直近12か月平均

# ARR\*1

ARRは前年同期比で+30.1%増加し、持続的かつ安定的な成長を実現



\*1：2024年3月期第3四半期までは単体数値、同第4四半期は連結数値

\*2：タレントマネジメントシステム「カオナビ」から計上されるARR

\*3：上記以外のサブスクリプションサービスから計上されるARR

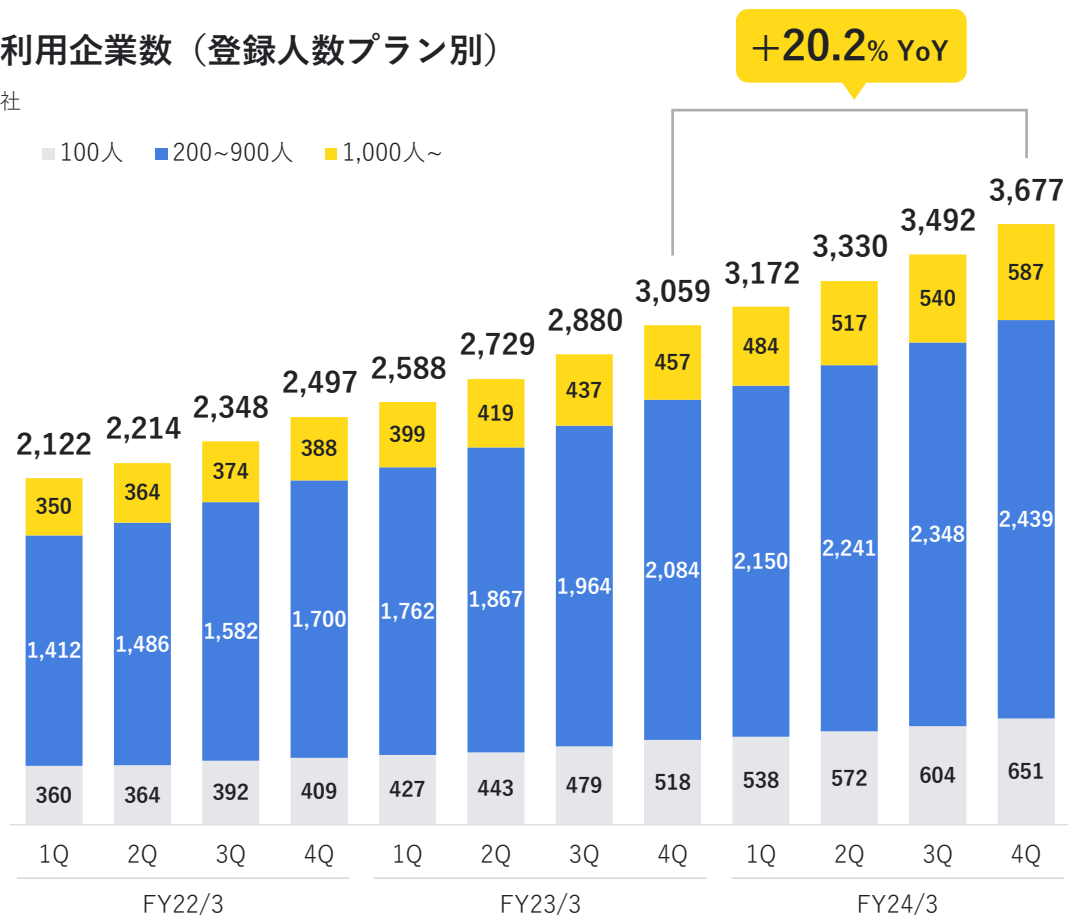
# TMSの利用企業数・ARPU

利用企業数は前四半期から185社増加して3,677社。ARPUも184千円と堅調に増加

利用企業数（登録人数プラン別）

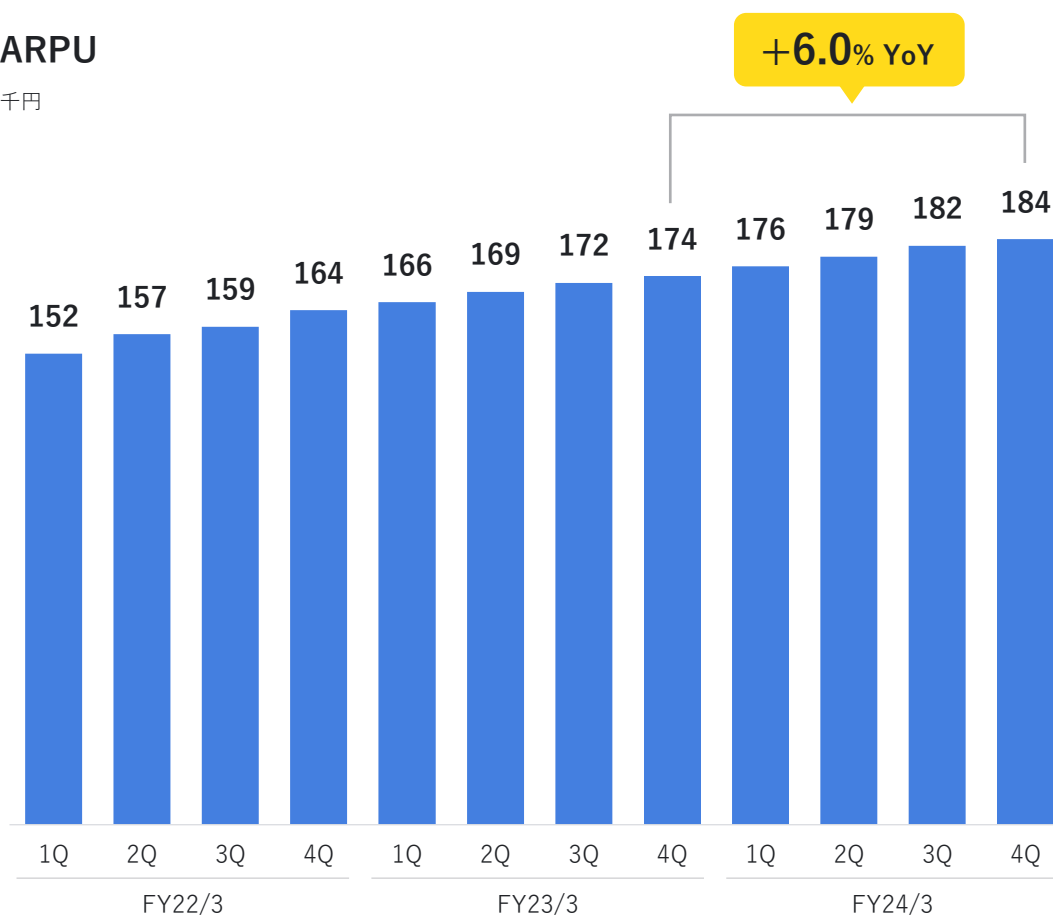
社

■ 100人 ■ 200~900人 ■ 1,000人~



ARPU

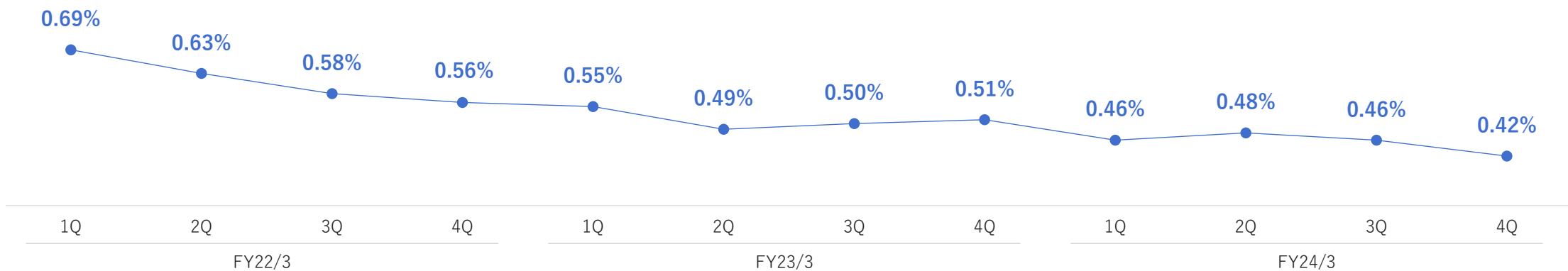
千円



# TMSの解約率

プロダクトの機能強化とカスタマーサクセスの取り組みにより、解約率は低い水準を維持

解約率\*1の直近12ヶ月平均



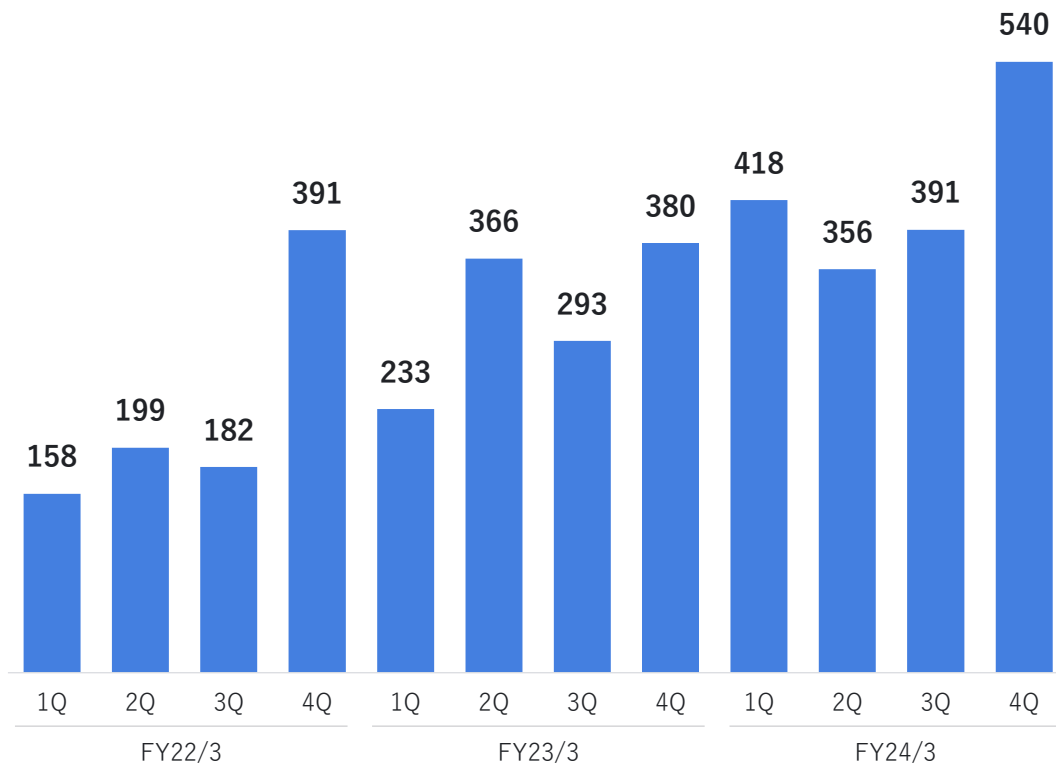
\*1：解約率 = 当月の解約により減少したMRR ÷ 前月末のMRR

# ユニットエコノミクス

4QはテレビCM等のマス広告をはじめ積極的なマーケティング投資を実施

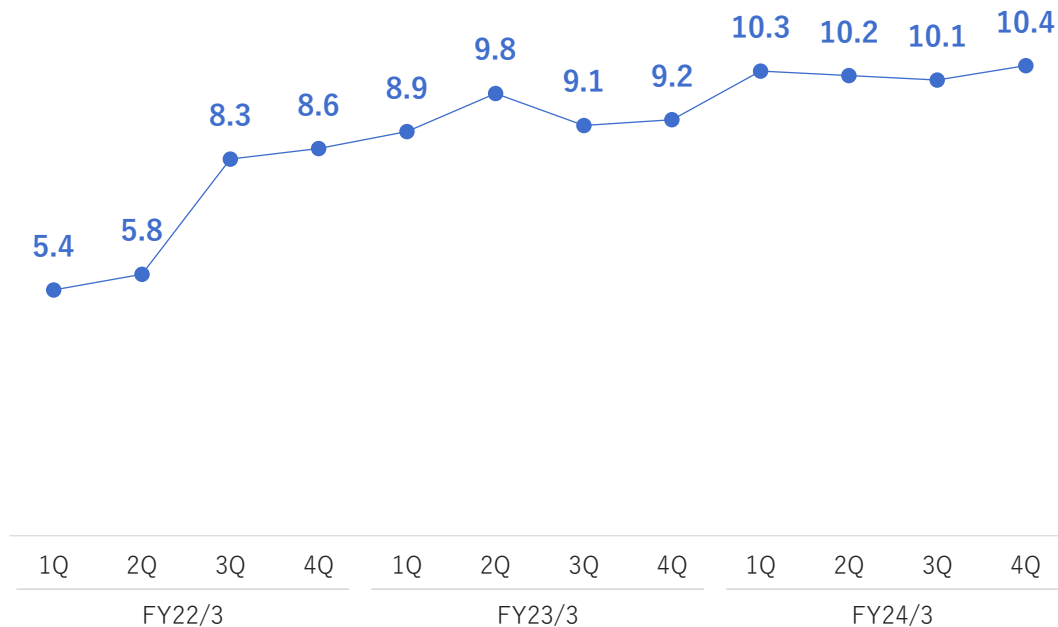
マーケティング関連費用\*1

百万円



LTV/CAC\*2の直近12ヶ月平均

X



\*1：広告宣伝費や販売促進費等のマーケティング活動に関連する費用

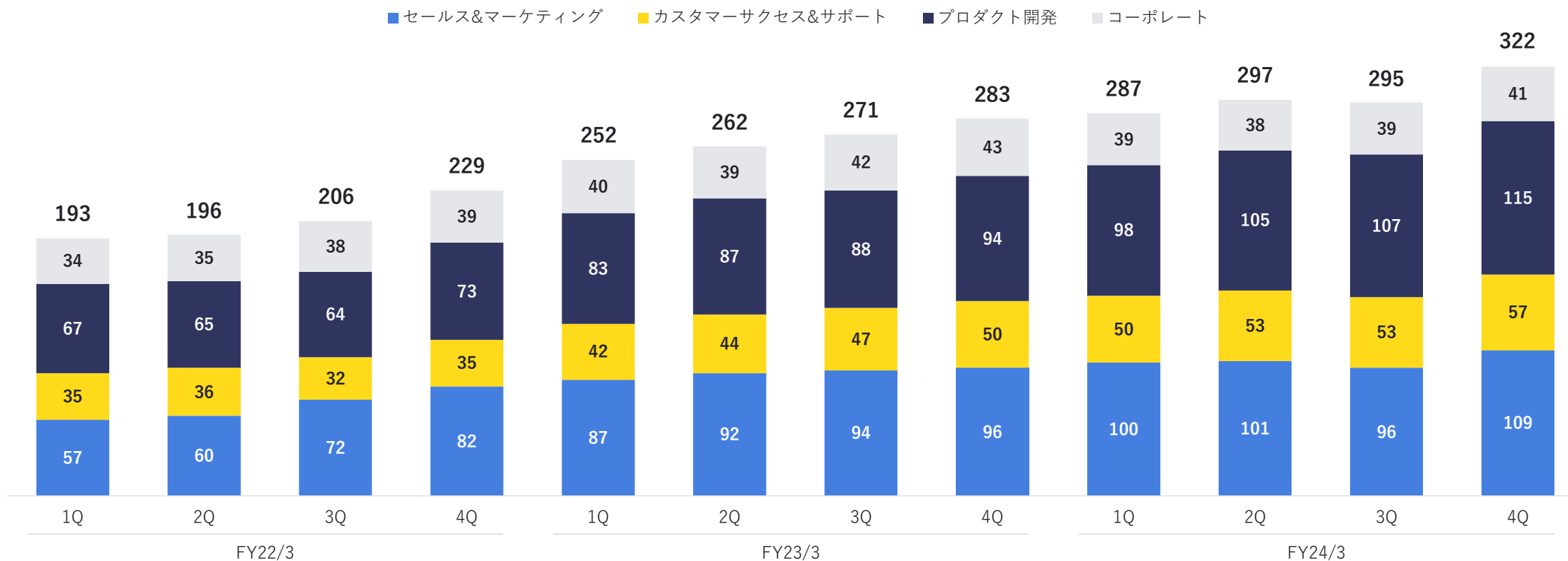
\*2：LTV = (当月末のARPU ÷ 当月の解約率) × 当月の売上総利益率。CAC = 当月のS&M費用（費用の定義はP65を参照） ÷ 当月の新規獲得顧客数

# 従業員数\*1

2024年3月末にWST社の従業員18名も加わり、前年同期比で39名の純増。FY25/3期も積極的な人員増強を促進し組織体制の強化を目指す

## 従業員数\*1

名



\*1：2024年3月期第3四半期までは単体数値、同第4四半期は連結数値

\*2：四半期末時点の正社員の数



1. トピックス

2. 中期経営方針の進捗状況

3. 2024年3月期 第4四半期実績

## 4. 2025年3月期 業績見通し

5. 補足資料

5-1. 会社概要

5-2. サービス概要

5-3. 中期経営方針

5-4. “はたらく”の未来とカオナビ



## 中期的なARR成長の加速

### 既存事業（TMS）の拡大

- 中期経営方針のもと、利用企業数とARPUの最大化に向けた事業戦略を推進

### 新規事業の育成

#### 新サービスの提供開始（労務管理システム、予実管理システム）

- 機能開発によるプロダクト価値の向上
- サービス提供に向けた組織体制の整備（人材採用）
- 認知拡大に向けたマーケティング活動

#### その他

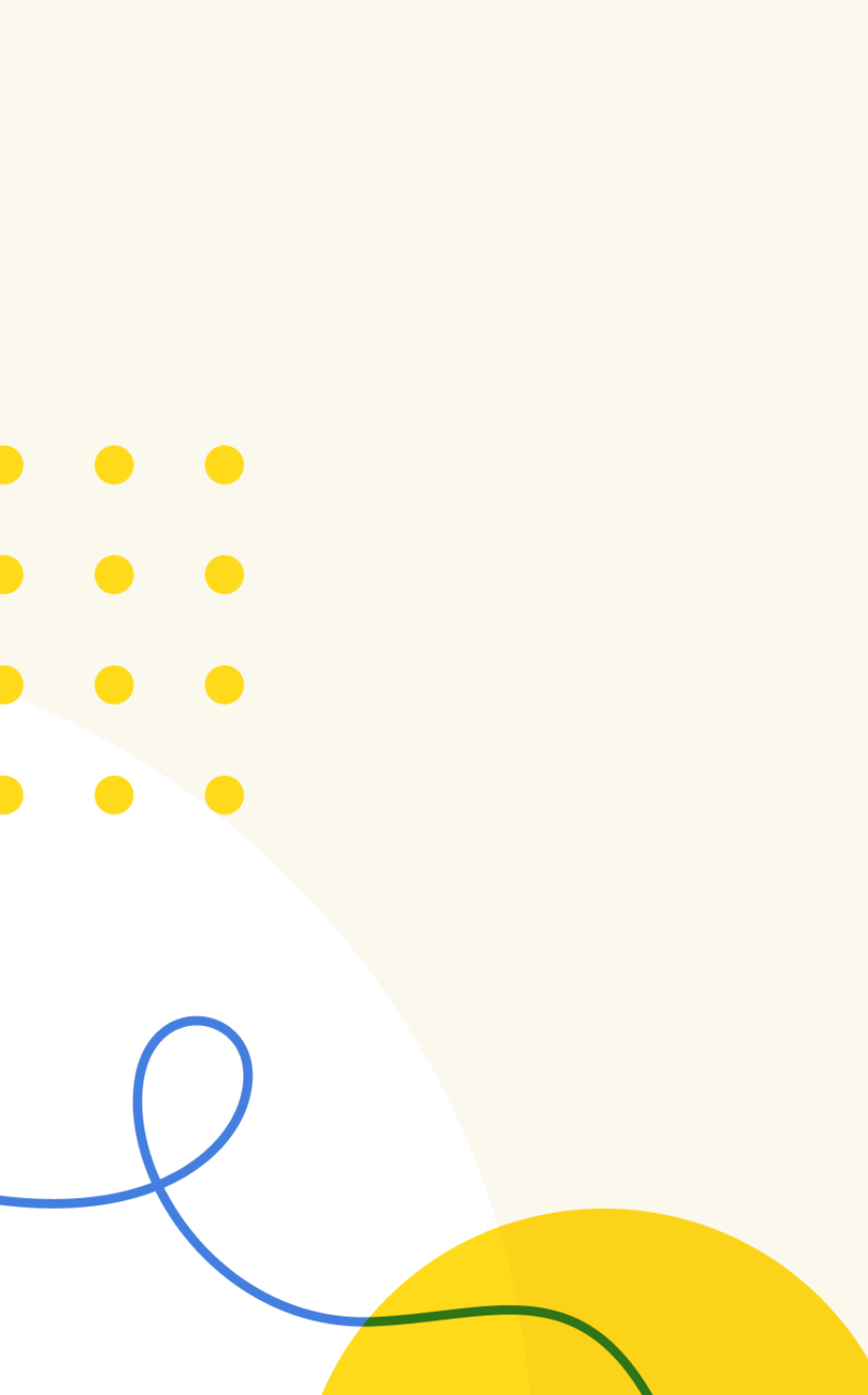
- 上記以外にもサービス開発やM&Aの検討等を進め、将来の新規事業の種まきを実施

## 2025年3月期の業績予想

売上高は前期比+23.5~25.4%と既存事業の継続的な成長を見込む。調整後営業利益は新規事業の立ち上がり状況に応じて機動的な投資判断が必要との観点から、具体的な金額予想は開示しない方針

百万円	FY24/3 (実績)	FY25/3 (業績予想)	前期比 (金額)	前期比
売上高	7,625	9,420 ~ 9,560	+1,795 ~ +1,935	+23.5% ~ +25.4%
ストック収益	6,723	8,465 ~ 8,565	+1,742 ~ +1,842	+25.9% ~ +27.4%
フロー収益	903	955 ~ 995	+52 ~ +92	+5.8% ~ +10.2%
調整後営業利益 <sup>*1</sup>	814	非開示	—	—
利益率	10.7%	非開示	—	—

\*1：調整後営業利益 = 営業利益 + 株式報酬費用 + M&Aによるのれん償却費 + その他一時費用

- 
1. トピックス
  2. 中期経営方針の進捗状況
  3. 2024年3月期 第4四半期実績
  4. 2025年3月期 業績見通し
  5. 補足資料

## 5-1. 会社概要

- 5-2. サービス概要
- 5-3. 中期経営方針
- 5-4. “はたらく”の未来とカオナビ

# 会社概要

会社名	株式会社カオナビ
所在地	東京、大阪、名古屋、福岡
設立日	2008年5月27日（事業開始日：2012年4月16日）
代表者	佐藤 寛之（代表取締役社長 Co-CEO） 柳橋 仁機（代表取締役 Co-CEO）
従業員数	322名（連結ベース、2024年3月末）
事業内容	HRテックサービス等の開発・販売・サポート



# マテリアリティ

これらの重要課題に取り組むことで持続可能な社会の発展に貢献し、パーパスの実現を目指す

## “はたらく”にテクノロジーを実装し 個の力から社会の仕様を変える

### 事業を通じた 社会貢献



#### 個を尊重する社会の実現

##### 従業員

- 従業員の基本的権利
- ダイバーシティとインクルージョン
- 労働安全衛生
- 従業員研修と能力開発

##### 社会

- バリューチェーンにおける人権の尊重
- コミュニティ参画・開発
- ステークホルダーコミュニケーション



#### 脱炭素社会の実現

- 気候変動対応
- エネルギー使用

### 事業基盤



#### 安全で使いやすいデータプラットフォーム

- 顧客責任
- データセキュリティ、プライバシー



#### 透明・公正なビジネス

- コーポレート・ガバナンス
- 腐敗防止

# バリュー

パーパス実現に向けた社内共通の価値観



## 1 誠実さを大切にする

仕事は誠実であることが大前提  
その上で高い成果を獲得する

## 2 ユーザー視点で考える

常にユーザー視点で徹底的に考える  
そして、ユーザーの期待を超える

## 3 仕組み化にこだわる

自分ができることをシンプルにし、  
他の人でもできるようにする

## 4 オーナーシップを持つ

自分の仕事とキャリアに主体性を持つ  
常に一步先に目標を置き、挑戦し続ける

## 5 コンフリクトを恐れない

利害の対立を恐れず議論を尽くし、  
チームとして新しい価値を生み出す

# 従業員エンパワーメント

生産性の向上に向けて、一人ひとりが自分に合った働き方を選択可能

## スーパーフレックス

出退社時刻と勤務時間を  
自分で決定



## スイッチワーク

勤務時間と休憩時間を  
柔軟に組み合わせて勤務可能



## ハイブリッド勤務

オフィス／自宅など、  
働く場所を自分で選択可能



## 兼業推奨

カオナビの仕事以外での  
経験を通じた自己研鑽を応援



# —— パーパス浸透に向けた取組み



個性を活かした働き方や暮らしを具現化した  
未来の街「カオナビタウン」をジオラマで表現



パーパスを起点に社員で構想を練り、  
プロビルダー三井氏とともにジオラマ化



パートナーや家族を招いたお披露目パー  
ティーで、コミュニケーションを活性化



カオナビの  
従業員・家族



レゴ®認定プロビルダー  
みつい じゅんぺい  
三井 淳平





# “個性”へのフォーカス

メディアを通じて個性を探求・発信



# 情報セキュリティと個人情報・プライバシー保護

情報資産の適切な取扱い・管理・保護に努めるための安全管理体制を整備



## 情報セキュリティ

### 情報セキュリティポリシー

「情報セキュリティ方針」を作成し、お客様をはじめとする利害関係者の信頼に応えるため、安全かつ適正な情報セキュリティ対策を実施

### 情報セキュリティ管理体制



### 情報セキュリティ訓練

全社員に対して年次のセキュリティ研修を実施し、問題が発生した場合でも迅速な対応ができるよう、経験値向上を図る

### 情報セキュリティ対策の実施

ISMS認証、ISMSクラウドセキュリティ認証を取得し、継続的なセキュリティマネジメントシステムを構築。また、日本政府が求めるセキュリティ要求を満たしていると認定され、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」にも登録

## 個人情報・プライバシー保護



### 認証

プライバシーマークを取得

### パーミッションの取得

個人情報の取得時は、パーミッションを取得する等の対応を実施

### 安全管理対策

個人データ保護のため、安全管理対策を徹底

# —— フィランソロピーの取り組み

教育機関や医療機関、公共機関におけるタレントマネジメントの支援を通じて社会の持続的発展に貢献



<b>対象</b>	学校法人等の教育機関
<b>価格</b>	特別価格



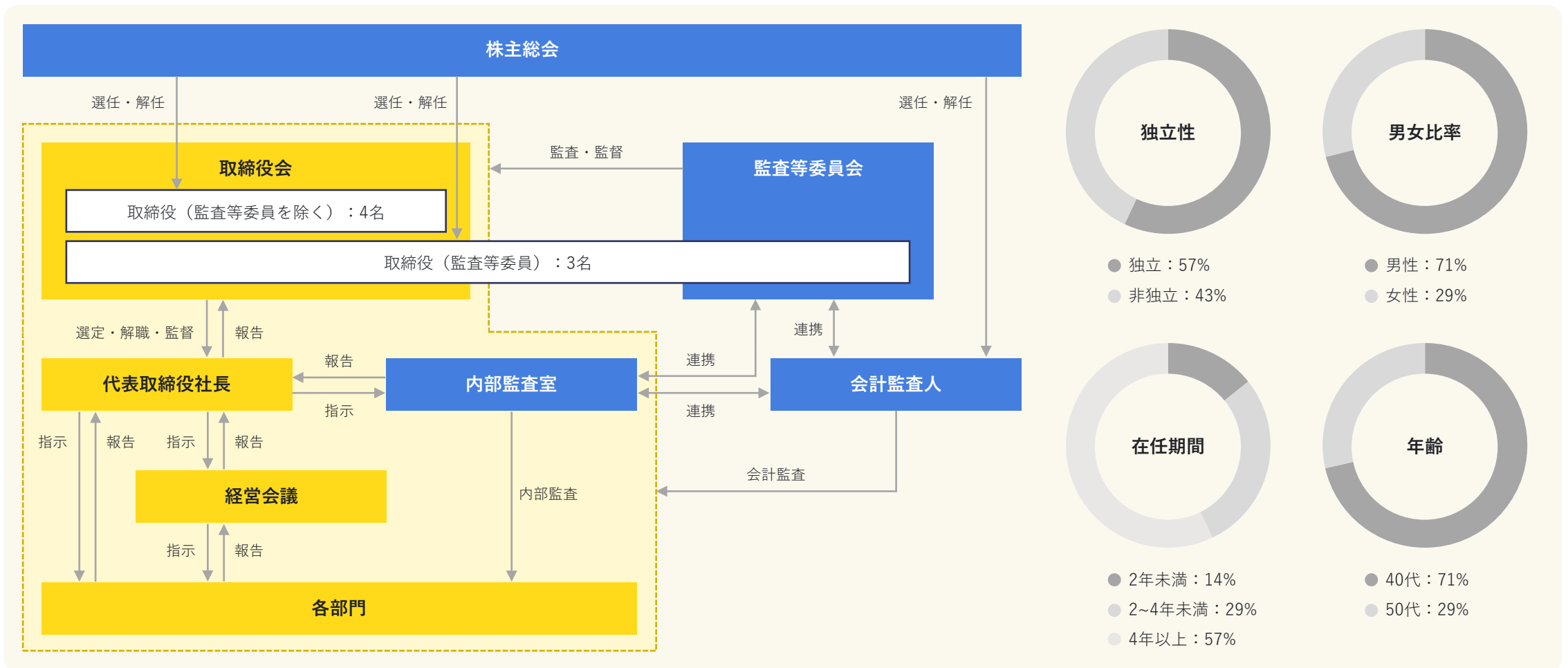
<b>対象</b>	医療法人等の医療機関
<b>価格</b>	特別価格



<b>対象</b>	官公庁、地方自治体、独立行政法人
<b>価格</b>	特別価格

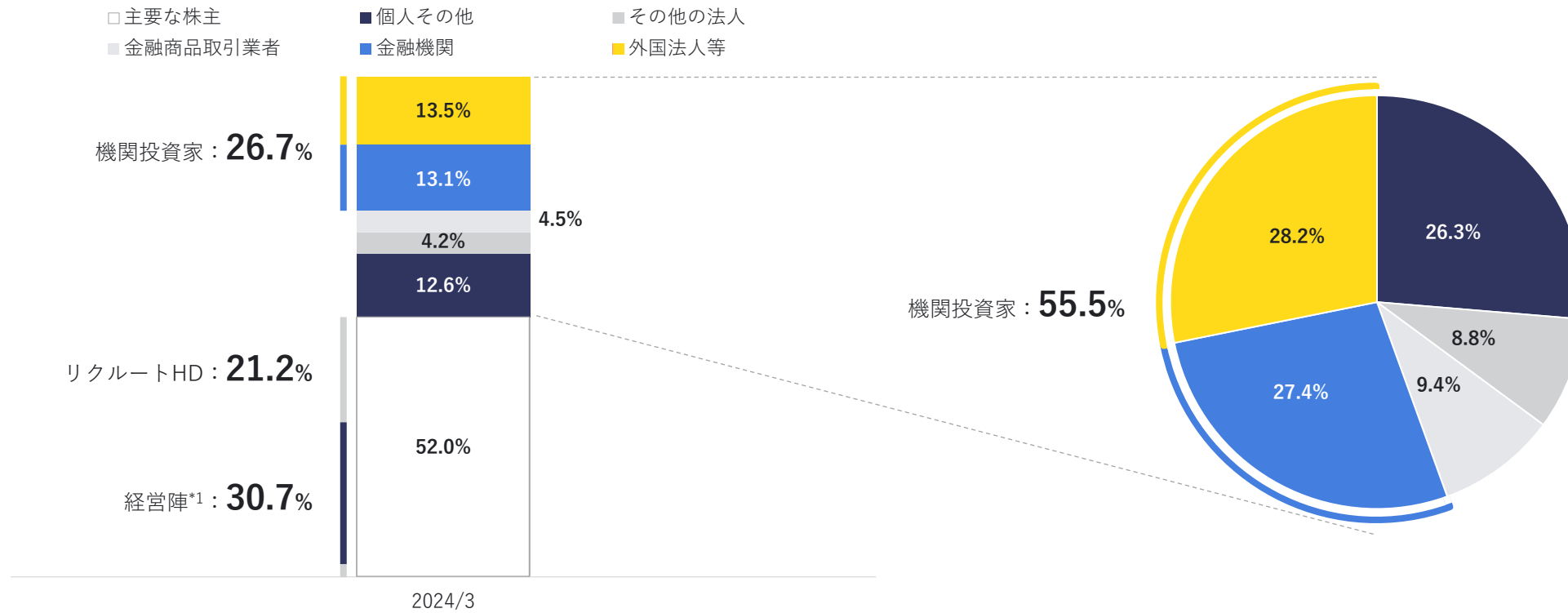
# コーポレート・ガバナンス (2023年6月末)

## コーポレート・ガバナンスの体制と取締役会の属性



# 株主構成 (2024年3月末)

## 株主の所有者別状況



\*1: 社内の業務執行取締役に加えて、資産管理会社の持分も含む

# 財務ハイライト\*1

百万円	FY20/3	FY21/3	FY22/3	FY23/3	FY24/3
<b>売上高</b>	<b>2,625</b>	<b>3,402</b>	<b>4,496</b>	<b>5,990</b>	<b>7,625</b>
ストック収益	2,102	2,991	3,931	5,156	6,723
フロー収益	523	411	565	834	903
<b>売上総利益</b>	<b>1,972</b>	<b>2,461</b>	<b>3,295</b>	<b>4,420</b>	<b>5,903</b>
売上総利益率	75.1%	72.3%	73.3%	73.8%	77.4%
<b>調整後営業利益*2</b>	<b>(278)</b>	<b>86</b>	<b>218</b>	<b>474</b>	<b>814</b>
調整後営業利益率	—	2.5%	4.8%	7.9%	10.7%
<b>営業利益</b>	<b>(278)</b>	<b>(11)</b>	<b>174</b>	<b>322</b>	<b>679</b>
営業利益率	—	—	3.9%	5.4%	8.9%
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>(357)</b>	<b>(131)</b>	<b>210</b>	<b>246</b>	<b>699</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>(482)</b>	<b>147</b>	<b>948</b>	<b>682</b>	<b>1,209</b>
FCFマージン	—	4.3%	21.1%	11.4%	15.9%
現預金	1,635	1,955	2,835	3,400	4,688
総資産	2,398	3,014	3,993	4,623	6,544
株主資本	995	961	1,208	1,491	2,208
自己資本比率	41.5%	31.9%	30.3%	32.3%	33.7%

\*1：2023年3月期までは単体決算、2024年3月期は連結決算

\*2：調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aによるのれん償却費＋その他一時費用

# リスク情報

## 主要なリスク\*1

### 競合について

発生可能性 **中** 影響度 **大**

当社のタレントマネジメントシステムの事業の分野において、競合企業が存在しております。また、当該事業分野が成長市場であること及び参入障壁が必ずしも高いとは言えないことから、今後、更なる他社の新規参入により競争が激化する可能性があります。競合企業の営業方針、価格設定及び提供する製品・サービス等は、当社が属する市場に影響を与える可能性があり、これらの競合企業に対して効果的な差別化を行うことができず、当社が想定している事業展開が図れない場合、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

## 対応策

引き続き顧客のニーズを汲んだ製品・サービスの提供を進めるほか、顧客体験価値やカスタマーサクセスの向上をより一層進めることで、競合企業との差別化を図ってまいります。

### システムトラブルについて

発生可能性 **小** 影響度 **大**

当社グループのサービスは、インターネットを介して提供しておりますが、大規模なプログラム不良や自然災害、事故、不正アクセス、その他何らかの要因によりシステム障害やネットワークの切断等予測不能なトラブルが発生した場合には、社会的信用失墜等により、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

安定的なサービスの運営を行うために、サーバー設備の増強、セキュリティの強化、システム管理体制の構築等により、システム障害に対する万全の備えをしております。

### 個人情報保護について

発生可能性 **小** 影響度 **大**

当社グループは、提供するサービスに関連して個人情報を取り扱っているため、「個人情報の保護に関する法律」が定める個人情報取扱事業者としての義務を課されております。当社グループが保有する個人情報等につき漏えい、改ざん、不正使用等が生じる可能性が完全に排除されているとはいえません。従いまして、これらの事態が起こった場合、適切な対応を行うための相当なコストの負担、当社グループへの損害賠償請求又は信用の低下等によって、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。なお、2024年3月29日付で公表しました子会社であるワークスタイルテック株式会社の個人情報漏えいに関して、今後関係各所から同社が損害賠償請求を受ける恐れがあります。

個人情報の外部漏えいの防止はもちろん、不適切な利用、改ざん等の防止のため、個人情報の管理を事業運営上の重要事項と捉え、アクセスできる社員を限定すると共に、個人情報保護規程等を制定し、全従業員を対象として社内教育を徹底する等、同法及び関連法令並びに当社グループに適用される関連ガイドラインを遵守してまいります。また、当社は2012年7月に取得したプライバシーマークを更新し、個人情報の保護と厳重な社内管理、漏えい防止に積極的に取り組んでおります。さらに、内部監査室によるセキュリティ対策の有効性、実行についての継続的な監査の実施などのセキュリティ推進に必要な体制を構築してまいります。

### 人材の確保や育成について

発生可能性 **中** 影響度 **中**

当社グループは、継続的な事業拡大のためには、優秀な人材の確保、育成及び定着が最も重要であると認識しておりますが、当社グループが求める優秀な人材が必要な時期に十分に確保・育成できなかった場合や人材流出が進んだ場合には、経常的な業務運営及び事業拡大等に支障が生じることや、人件費や採用費が計画から乖離すること等により、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

従業員が働きやすい環境の整備や人事制度の構築、教育・研修体制の充実化に努めてまいります。

\*1：その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください



1. トピックス

2. 中期経営方針の進捗状況

3. 2024年3月期 第4四半期実績

4. 2025年3月期 業績見通し

**5. 補足資料**

5-1. 会社概要

**5-2. サービス概要**

5-3. 中期経営方針

5-4. “はたらく”の未来とカオナビ

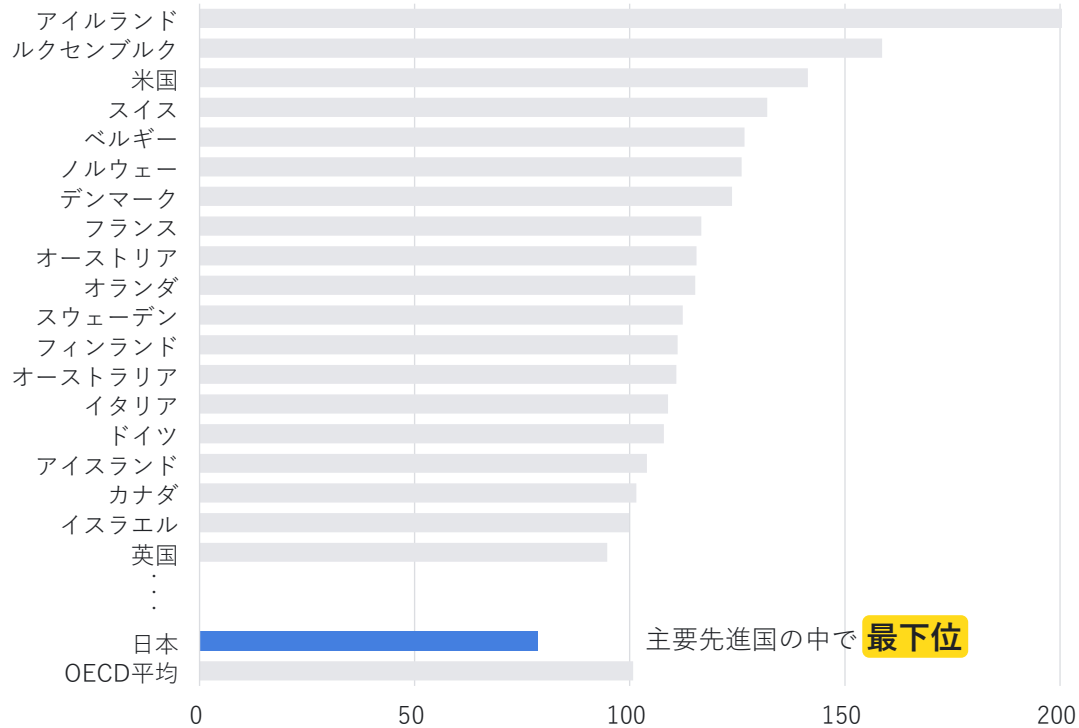


# 日本社会が抱える労働問題

生産年齢人口の減少を見据え、労働生産性の向上や多様な働き方の推進などが喫緊の課題

## OECD加盟諸国の労働生産性（2020年、就業者1人あたり）

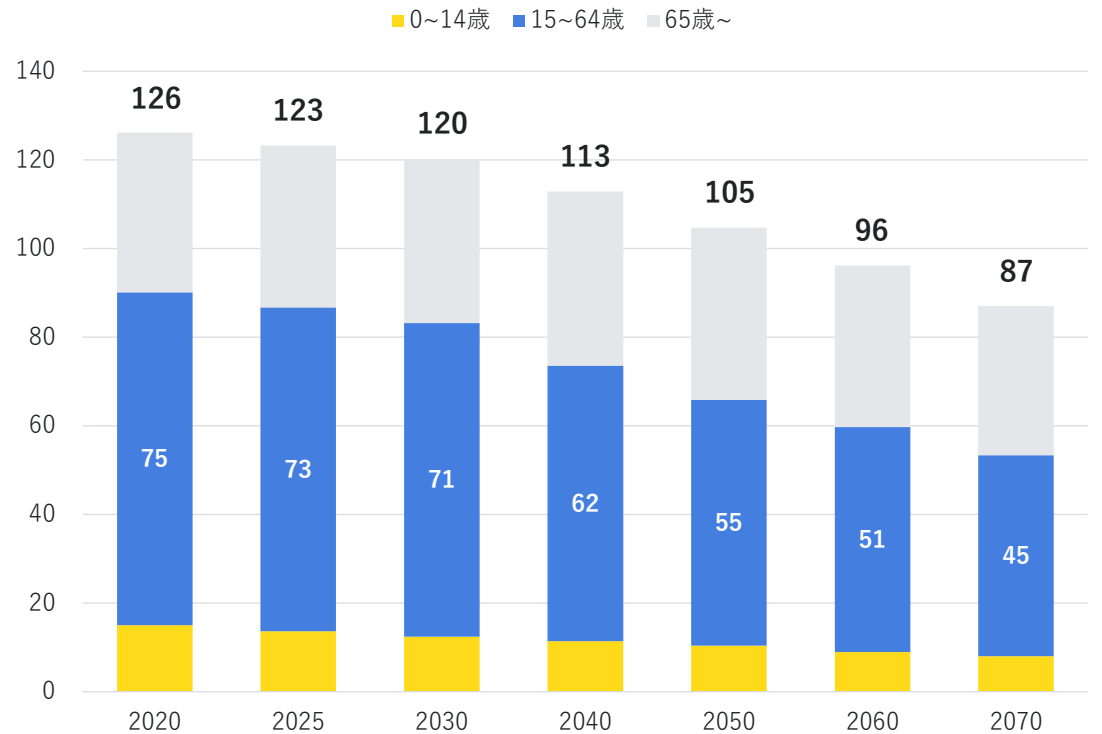
購買力平価換算US\$1,000



出所：日本生産性本部「労働生産性の国際比較」2021年版

## 日本の年齢別将来人口推計

百万人



出所：内閣府「令和5年版高齢社会白書」

# —— タレントマネジメントに対する関心の高まり

企業が直面している課題の解決に向けて、タレントマネジメントへの注目が高まる



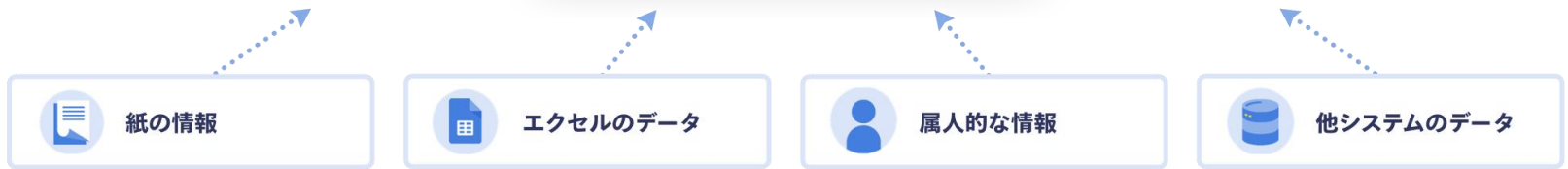
## タレントマネジメント



従業員が持つ能力やスキルなどの情報を、採用や配置、育成等に活用することで、従業員と組織のパフォーマンスの最大化を目指す

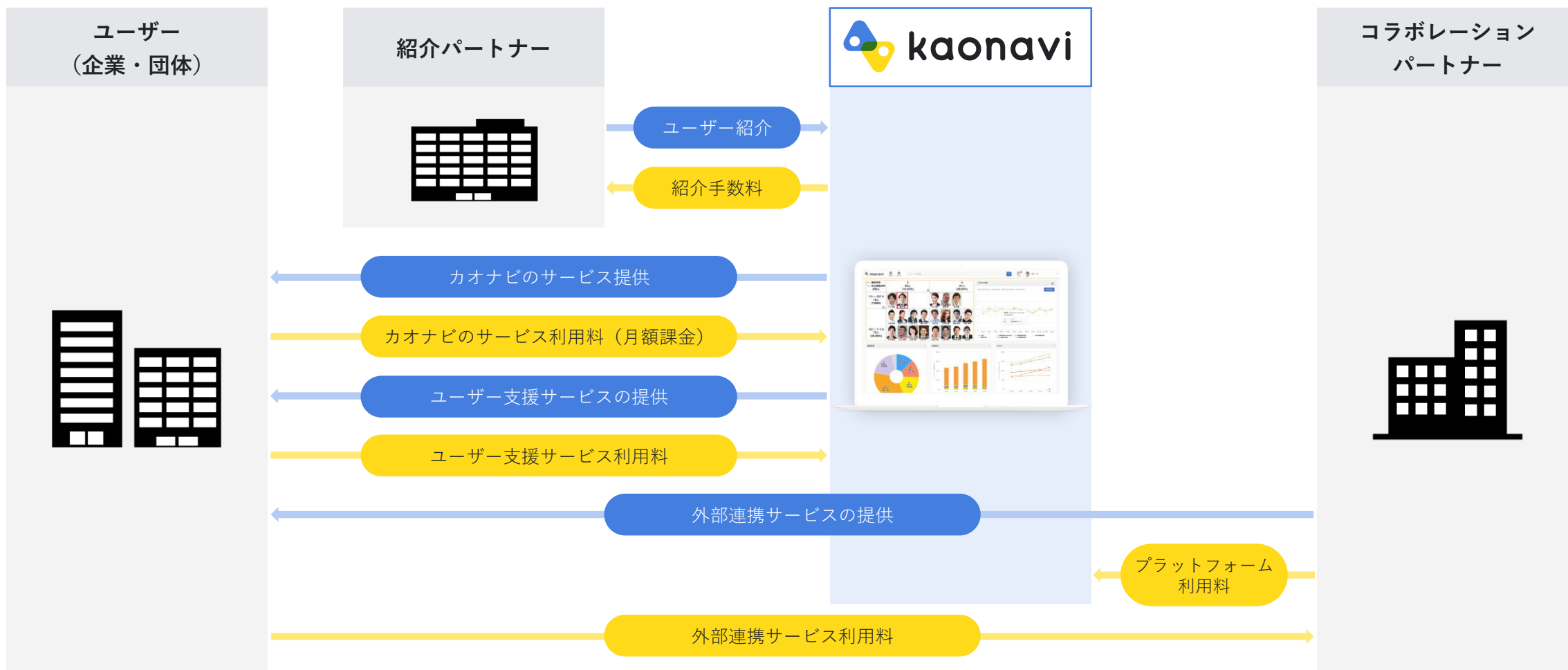
# タレントマネジメントシステムとは…

人材情報を一元化し、人事や経営の課題を解決するシステム



# ビジネスモデル\*1

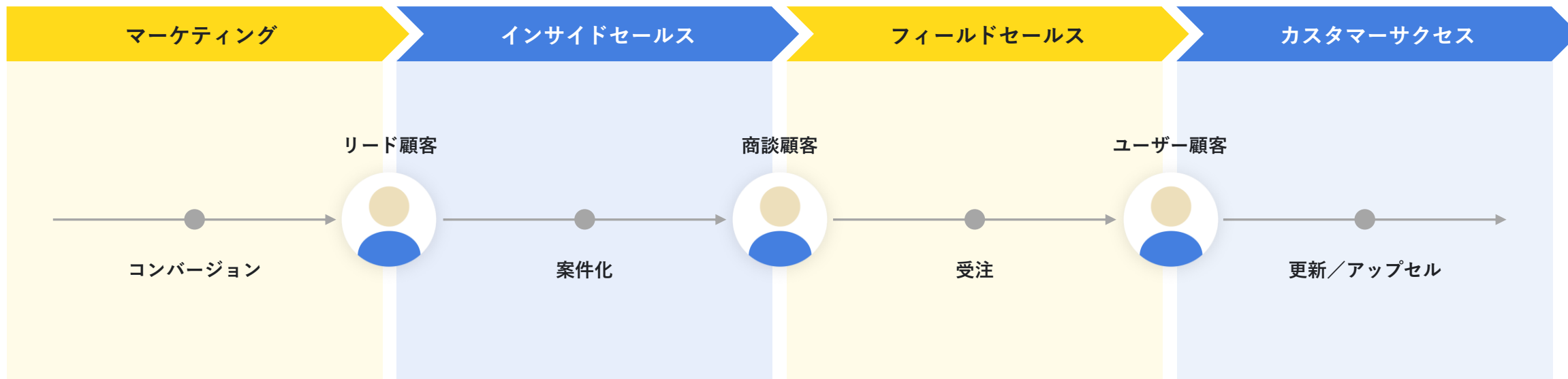
## BtoBクラウドサービスのサブスクリプションモデル



\*1: 直接販売に加えてセールspartner経由での販売もありますが、売上高全体に対する比率が小さいため省略しております

# ビジネスプロセス

販売・マーケティング活動の効率化とLTV\*1の最大化を目指して、プロセスの仕組み化を推進



\*1: Lifetime Valueの略で顧客生涯価値

# 料金体系

「登録人数」と「利用機能」に応じた料金体系

登録人数	×	利用機能	DATABASE データベースプラン	PERFORMANCE パフォーマンスプラン	STRATEGY ストラテジープラン
			人材情報の一元管理	人事評価業務の効率化	戦略的人材マネジメント
~ 100 人		人材データベース	✓	✓	✓
~ 200 人		社員リスト	✓	✓	✓
~ 300 人		組織ツリー図	✓	✓	✓
~ 400 人		評価ワークフロー		✓	✓
~ 500 人		社員アンケート		✓	✓
~ 600 人		配置バランス図			✓
~ 700 人		社員データグラフ			✓
~ 800 人		ダッシュボード			✓
⋮		オプションサービス*1	✓	✓	✓

\*1: 申請ワークフローやカオナビ労務など自社提供サービスの他、外部連携サービスとして株式会社リクルートマネジメントソリューションズが提供する適性検査 (SPI3) などがあります

# カオナビの強み

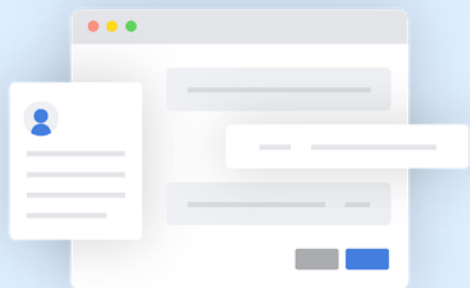
正解のないタレントマネジメントへの取り組みに対して、システムとサポートの両輪を提供



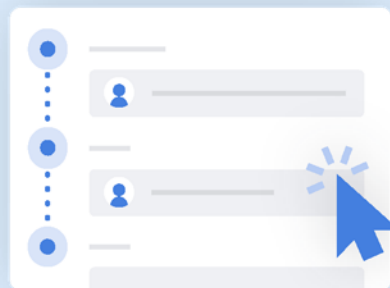
# カオナビの強み

**システム** 柔軟性とユーザビリティを徹底的に追及したシステム設計

カスタム自在な人材データベース



マニュアル不要のユーザー画面



セキュアなアクセス管理



**サポート** 導入顧客のタレントマネジメントの成功確率を高める

ユーザーコミュニティ



他社との交流を通じて、  
活きた事例を学び合う

ライブラリ



タレントマネジメントに関する  
豊富なコンテンツ

サポート体制



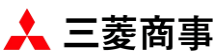
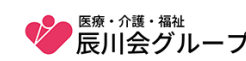
豊富な実績・知見を持つ  
専任のスタッフがサポート

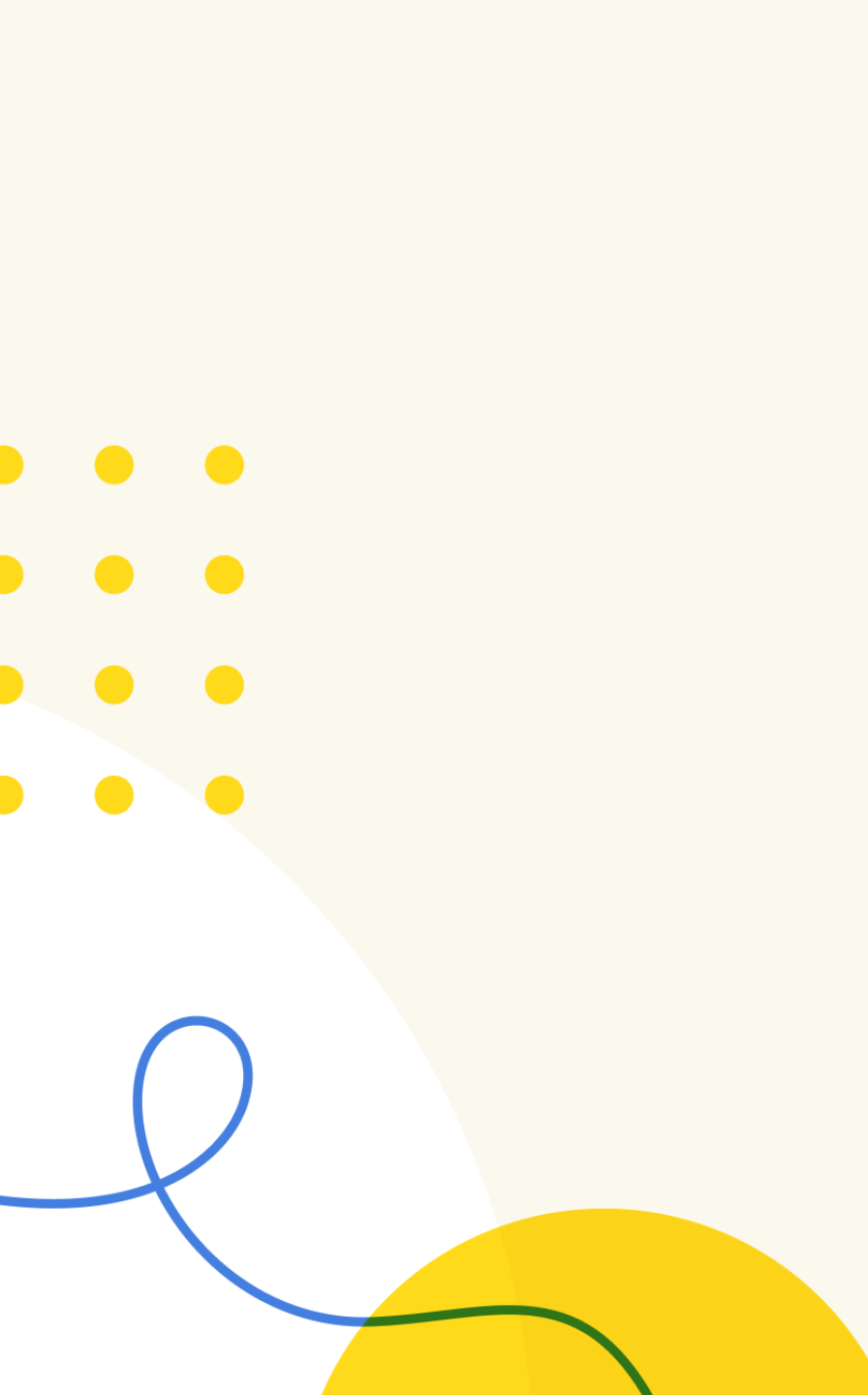


# 導入顧客

3,600社以上の顧客を支援するタレントマネジメントシステムのリーディング企業

業界や規模を問わず多くの企業や団体が活用



- 
1. トピックス
  2. 中期経営方針の進捗状況
  3. 2024年3月期 第4四半期実績
  4. 2025年3月期 業績見通し

## 5. 補足資料

5-1. 会社概要

5-2. サービス概要

## 5-3. 中期経営方針

5-4. “はたらく”の未来とカオナビ

# 中期経営方針

## パーパス

“はたらく”にテクノロジーを実装し  
個の力から社会の仕様を変える

## ビジョン


人材情報を一元化した  
データプラットフォームを築く

## 中期経営方針

- 1 継続的なARRの成長
- 2 収益性の向上
- 3 非財務的活動の推進

## マテリアリティ

● 環境 ● 社会 ● ガバナンス

 個を尊重する  
社会の実現

従業員


- 従業員の基本的権利
- ダイバーシティとインクルージョン
- 労働安全衛生
- 従業員研修と能力開発

社会


- バリューチェーンにおける人権の尊重
- コミュニティ参画・開発
- ステークホルダーコミュニケーション

 脱炭素社会の実現

- 気候変動対応
- エネルギー使用

 安全で使いやすい  
データプラットフォーム

- 顧客責任
- データセキュリティ、プライバシー

 透明・公正なビジネス

- コーポレート・ガバナンス
- 腐敗防止

# 1 継続的なARRの成長



## 利用企業数の拡大

組織体制の強化

認知度の向上

パートナーの活用



## ARPUの向上

エンタープライズ企業の増加

アップセルの促進

人材データプラットフォームの拡大

# 1 継続的なARRの成長：利用企業数の拡大

カオナビの対象市場は依然ホワイトスペースであり、広大な開拓余地が存在

## 利用企業数の拡大施策

### 組織体制の強化

- 人的資本への投資（人員の増強・育成）
  - セールス：獲得社数の増加
  - カスタマーサポート・サクセス：運用定着、解約の抑制
  - エンジニア：機能開発、UI/UXの向上
  - コーポレート：セキュリティ・ガバナンスの強化
- パーパス・ビジョン・バリューの浸透

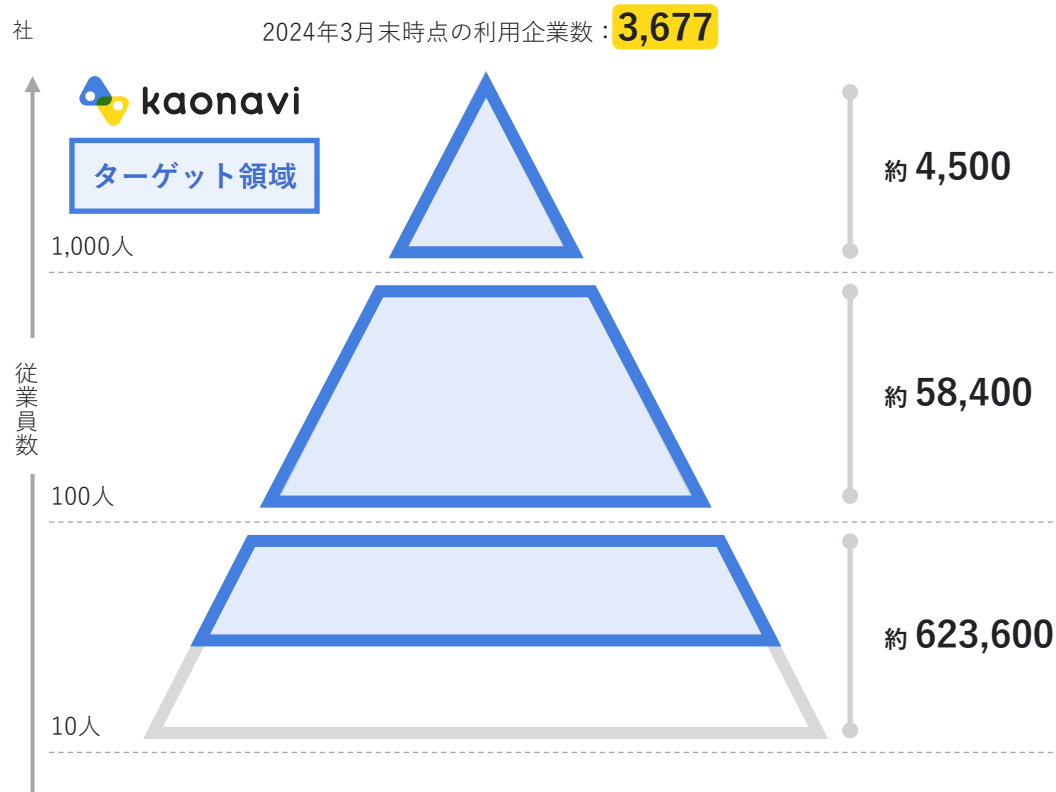
### 認知度の向上

- 認知拡大のための継続的な広告宣伝
- 地方都市へのエリア展開

### パートナーの活用

- 紹介パートナーの拡大
- セールspartner経由の販売拡大

## 日本の企業数



出所：総務省・経済産業省「平成28年経済センサスー活動調査」の統計データから当社作成

# 1 継続的なARRの成長：ARPUの向上

新機能や新サービスの開発に注力することで、人材データプラットフォームを拡大・進化

## ARPUの向上施策

### エンタープライズ企業の増加

- エンタープライズ企業のニーズに応えた機能強化
  - 人的資本情報の活用
  - 個人のエンパワーメントなど
- 良質なオンボーディングコンテンツの提供

### アップセルの促進

- 顧客ロイヤリティの向上
  - 部分導入顧客による全社拡大（登録人数プランのアップ）
  - オプション機能の利用拡大
- 機能拡充と従量課金モデルの展開

### 人材データプラットフォームの拡大

- 人材データベースを活用した新領域へのサービス展開
  - 自社開発、他社との業務提携、M&Aの活用

## 主要な開発項目（FY25/3）

### 人的資本情報の活用

- グラフと集計機能を継続的に拡充
- 社員の履歴情報をグラフィカルに表示
- AIを利用したテキスト分析

### 個人のエンパワーメント

- 集合研修の管理
- 階層化したスキルの収集・分析

### 配置から発令までの自動化

- 配置検討に関する業務の効率化
- 発令情報の社内通達

### 会社と社員の関係性をDX化

- ワークフロー機能の改善
- 労務管理の追加機能開発



# 人材データプラットフォームによるTAMの拡大可能性\*1

人材データプラットフォーム関連市場

約 **8.4** 兆円\*3

タレントマネジメントシステム

約 **2,000** 億円\*2

\*1: Total Addressable Marketの略で、想定される最大の市場規模を示します。一定の前提の下、外部の統計資料や公開資料を基礎として、下記に記載の計算方法により当社が推計しております

\*2: 総務省・経済産業省「平成28年経済センサスー活動調査」より従業員50名以上の企業を導出し、従業員規模別に当社の料金体系を乗じて算出

\*3: 下記の市場規模を合算して算出

一般社団法人 人材サービス産業協議会「2030年の労働市場と人材サービス産業の役割」より、求人広告・職業紹介・派遣の市場規模（実績値）

矢野経済研究所「企業向け研修サービス市場に関する調査（2020年）」より、企業向け研修サービスの市場規模（2019年度）

矢野経済研究所「人材ビジネス市場に関する調査（2020年）」より、再就職支援業の市場規模（2019年度）

矢野経済研究所「EAP（従業員支援プログラム）市場に関する調査（2016年）」より、EAP（従業員支援プログラム）市場規模（2015年度予測値）

デロイト トーマツ ミック経済研究所「HR techクラウド市場の実態と展望2020年度版」より、採用管理クラウド・育成定着クラウドの市場規模（2021年度予測値）



## 2 収益性の向上\*1

適切な投資配分により持続的成長を実現し、中長期的な利益拡大を図る

	FY22/3	FY23/3	FY24/3	中長期財務モデル
売上総利益率	73.3%	73.8%	77.4%	80%
S&M*2 (対売上高比率)	40.3%	40.8%	40.2%	30-35%
R&D*3 (対売上高比率)	5.6%	7.2%	11.3%	10-15%
G&A*4 (対売上高比率)	23.6%	20.4%	17.0%	10%
営業利益率	3.9%	5.4%	8.9%	20-30%
調整後営業利益率*5	4.8%	7.9%	10.7%	

\*1：2023年3月期までは単体決算、2024年3月期は連結決算

\*2：Sales and Marketingの略で、営業・マーケティング・カスタマーサクセス部門等の人件費、マーケティング関連費用、関連する経費や共通費の合計

\*3：Research and Developmentの略で、研究開発に従事するエンジニア等の人件費、関連する経費や共通費の合計

\*4：General and Administrativeの略で、コーポレート部門等の人件費、関連する経費や共通費の合計

\*5：調整後営業利益=営業利益+株式報酬費用+M&Aによるのれん償却費+その他一時費用

# 株主還元方針

企業価値の最大化に向けて成長投資を機動的に実施するため、内部留保の充実を優先する方針



# 中期財務目標

継続的なARR成長率

**20-30%**

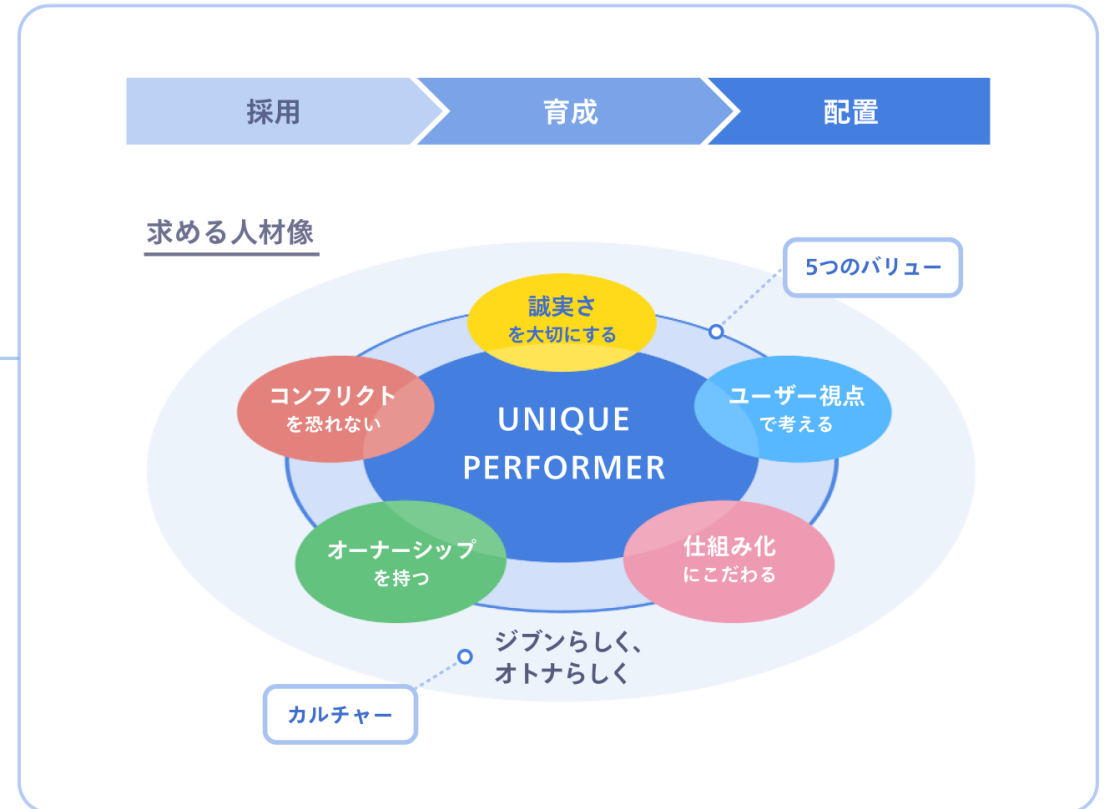
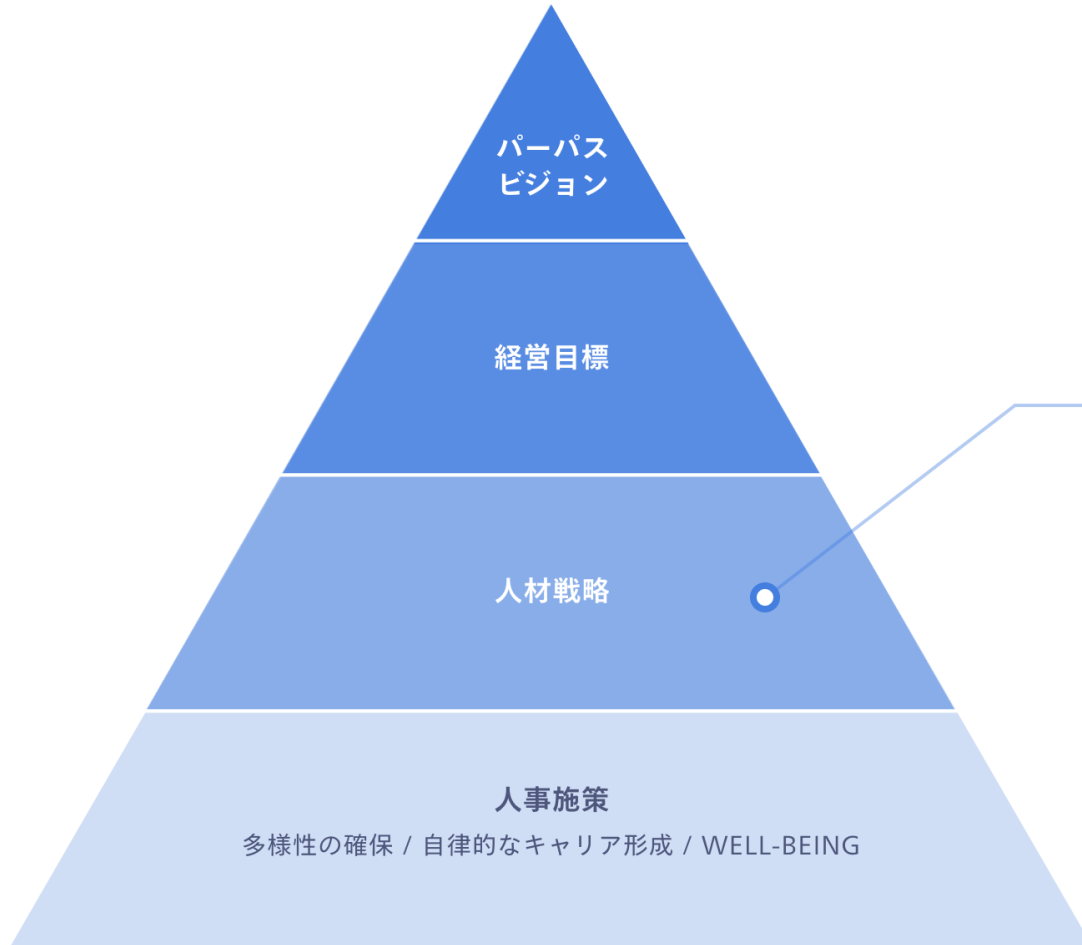
調整後営業利益率\*1 (FY28/3までに)

**20%+**

\*1：調整後営業利益 = 営業利益 + 株式報酬費用 + M&Aによるのれん償却費 + その他一時費用

### 3 非財務的活動の推進：個を尊重する社会の実現

経営目標を達成するために必要となる人材の要件を定義し、人材の採用・育成・配置を戦略的に進めることで、企業価値の向上を目指します



### 3 非財務的活動の推進：個を尊重する社会の実現

従業員一人ひとりが個性や才能を発揮できる環境づくりや育成に取り組みます



新たな価値創出へ向けた  
多様性の確保

#### 男女間格差の解消

- 年代別男女間格差など格差が生じる要因を分析し、対応策を検討

#### 女性活躍の推進

- 不妊治療、出産、育児とライフステージの変化に伴い女性が働き続けられる環境の整備

#### 性的マイノリティへの支援

- 同性パートナーを「配偶者」と認め、慶弔休暇・慶弔見舞金に関する格差を解消

#### 外国籍社員への支援

- 就労ビザ取得支援、社内文書の翻訳等、外国籍社員の就労環境の整備



自律的なキャリア形成  
の支援

#### 階層別研修の実施

- マネージャー候補の育成や各種研修の実施
- 管理職、女性社員向け研修の実施

#### Pay for performanceの実践

- 成果に応じた公平な評価制度の運用、重要ポジションへの抜擢



Well-beingの向上

#### 男性による育児休暇取得の推進

- 育児休暇を取得しやすい環境整備と、育休取得者の体験談の共有

#### 誰もが働きやすい環境づくり

- 育児との両立や生産性向上のため、My Work Style制度を通じた柔軟な働き方を推進
- 障がいを持つ社員の声を反映した制度の改定

### 3 非財務的活動の推進：個を尊重する社会の実現



#### 新たな価値創出へ向けた多様性の確保

女性管理職比率  
(2024年3月時点)

**22.9** % 政府目標：30% (2030)

男女間賃金格差\*1  
(FY24/3)

**84.5** %

外国籍従業員比率  
(2024年3月時点)

**0.7** %



#### 自律的なキャリア形成の支援

一人あたりの年間研修時間\*2  
(FY24/3)

**9.8** h

兼業率  
(2024年3月時点)

**18.1** %

離職率  
(FY24/3)

**17.6** %



#### Well-beingの向上

育休取得率 (男性)  
(FY24/3)

**88.2** % 政府目標：50% (2025)  
85% (2030)

育休復帰率  
(FY24/3)

**100** %

テレワーク実施率  
(FY24/3)

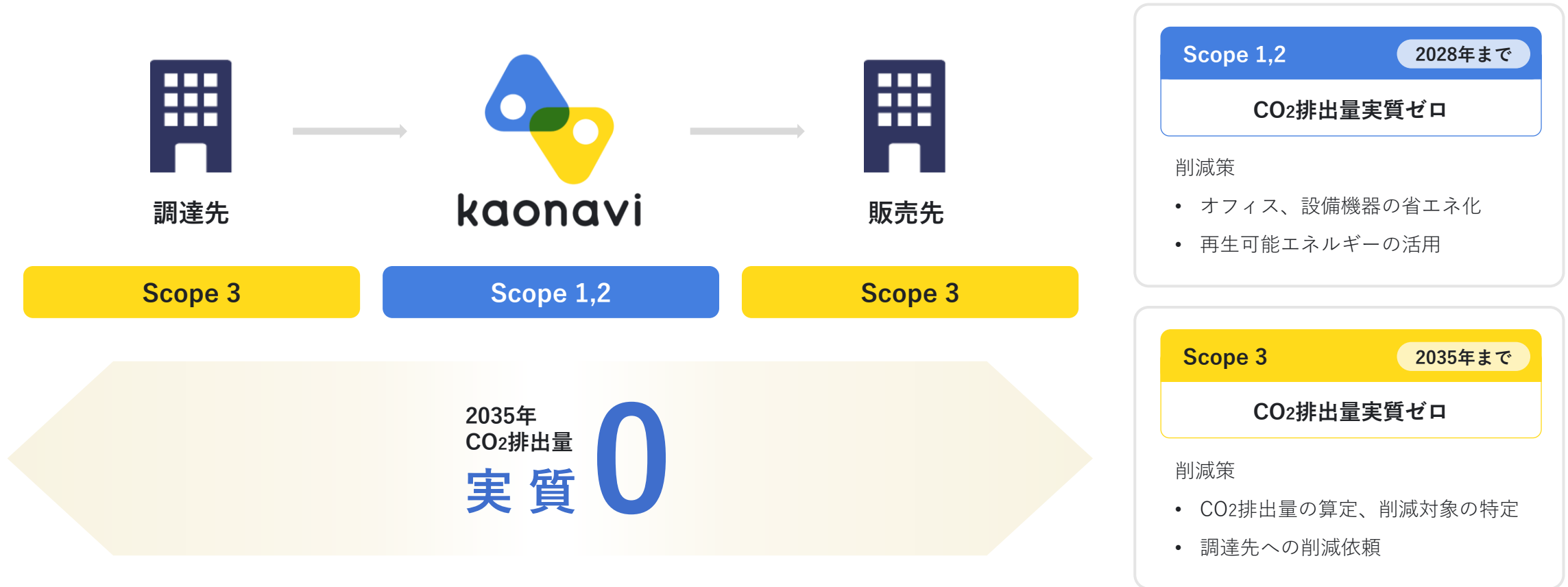
**80.3** %

\*1：男女間賃金格差 = 女性正社員の平均年間賃金 ÷ 男性正社員の平均年間賃金

\*2：集計の対象は社内研修のみで社外研修は対象外

### 3 非財務的活動の推進：脱炭素社会の実現

日本政府が掲げる2050年カーボンニュートラルの方針に賛同し、CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指します\*1



\*1：CO<sub>2</sub>排出量の実績は当社Webページをご参照ください ([https://corp.kaonavi.jp/sustainability/esg\\_data/](https://corp.kaonavi.jp/sustainability/esg_data/))



1. トピックス

2. 中期経営方針の進捗状況

3. 2024年3月期 第4四半期実績

4. 2025年3月期 業績見通し

**5. 補足資料**

5-1. 会社概要

5-2. サービス概要

5-3. 中期経営方針

**5-4. “はたらく”の未来とカオナビ**



# 人材情報の管理と働き方の変遷ー過去

1980

1990

2000

2010

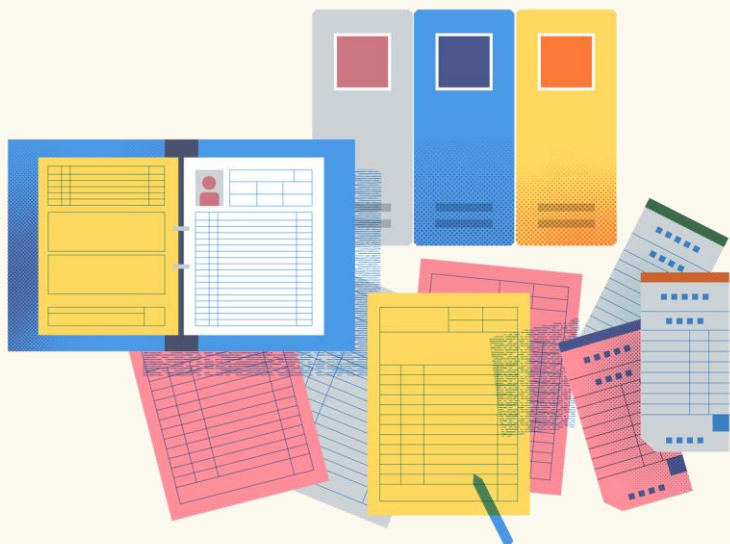
2020

2030

自分の情報は会社が管理

自分の情報は自分で管理

Paper



人材情報を会社が紙で管理



単純作業の分担

# 人材情報の管理と働き方の変遷ー過去

1980

1990

2000

2010

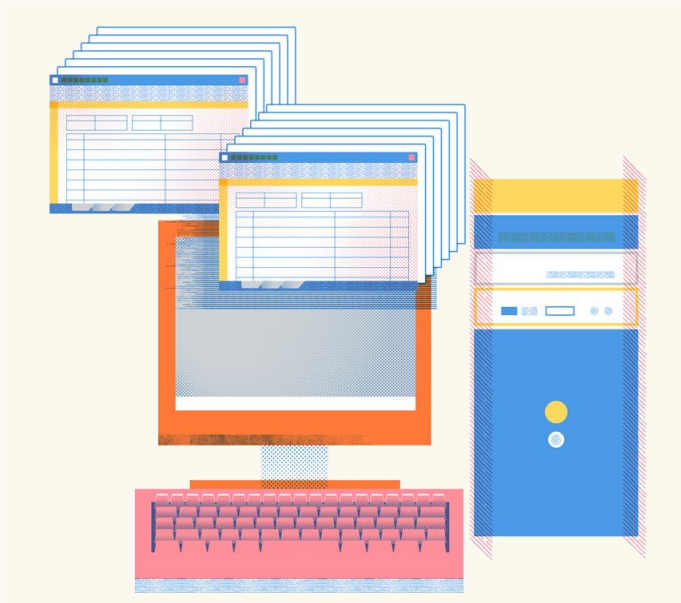
2020

2030

自分の情報は会社が管理

自分の情報は自分で管理

Data



人材情報を会社がデータで管理



PCを使って一人で全部をこなす

# 人材情報の管理と働き方の変遷ー現在

1980

1990

2000

2010

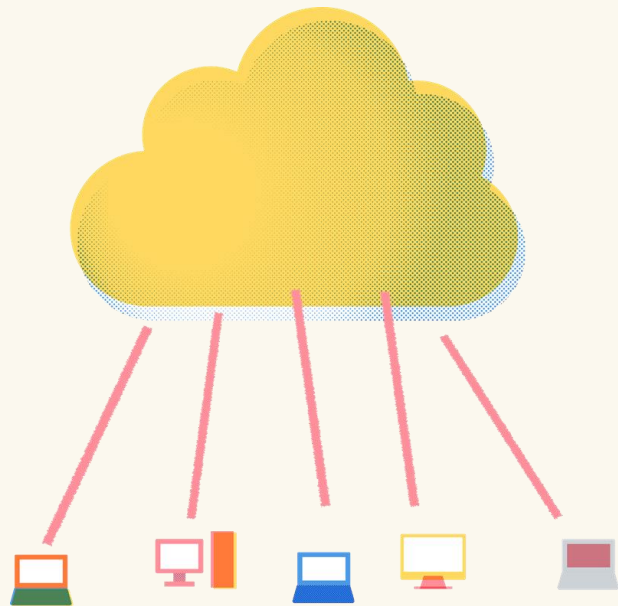
2020

2030

自分の情報は会社が管理

自分の情報は自分で管理

Cloud



人材情報を会社がクラウド上で管理



人材情報の活用  
→得意分野を活かしてチームで働く

# 人材情報の管理と働き方の変遷 - 未来

1980

1990

2000

2010

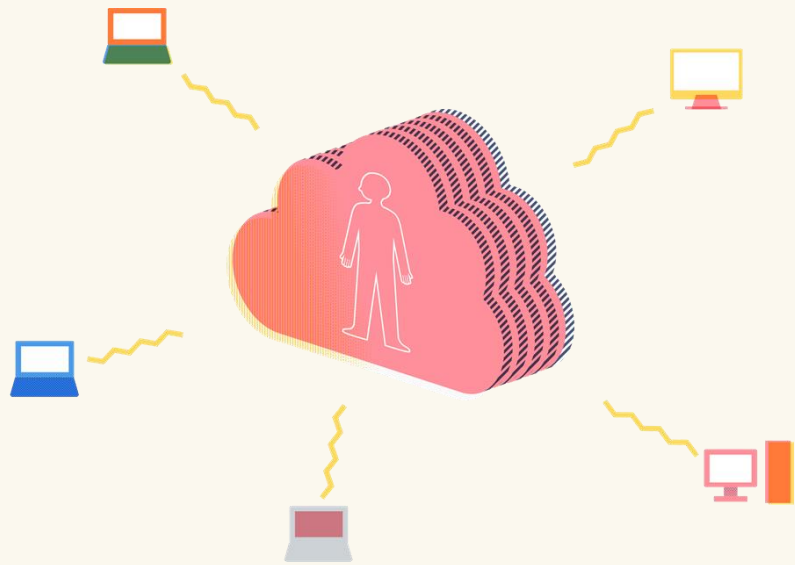
2020

2030

自分の情報は会社が管理

自分の情報は自分で管理

Portable



個人が管理する情報に複数の組織がアクセス



スキルや才能を活かして様々な組織で働く

# カオナビの世界観

業務や手続きの支援ではなく、個人のキャリア形成や働き方の多様化を支援するプロダクトを志向

## 個人のエンパワーメント



ひとの可能性を正しく理解できる世界をつくる

## 業務の効率化



煩雑な業務や手続きから解放される世界をつくる

## ロゴに込めた思い

カオナビの世界観を新しいロゴで体現



相手を知ることの大切さを、  
2人の人で表現しています。

○は人で、△はその人の視野（視界）を表します。お互いを知ろうとする（=視界を重ね合う）ことで初めて生まれる中央の新しいスペースこそが、カオナビが目指す**ひとの可能性を正しく理解できる世界**であるという思いを込めています。

# 新しい時代のプロダクト



自分の個性や才能を持ち運ぶ  
“はたらく”ためのパスポート


# プロダクトの個性




カオナビは「三国志のゲームのように人材管理ができれば」という発想から生まれました。

このゲームの要素を思考のベースに取り入れるマインドは、私たちの原点であり、圧倒的な**個性**です。


所属



Hornburg castle




城主



Rohan  
Erkenbrand

LV 48  
HP 520/765  
MP 39/39

兵数  2180 / 2300

◀ 騎兵	28 / 32	防衛力	A
楯兵	73 / 75	兵装・兵器	B
弓兵	72 / 80	馬	..... 40
歩兵	181 / 196	大砲	..... 1
衛生兵	24 / 24	投石器	..... 5

資産  580 / 580


兵糧収入	2340	製造	42
農地	9000	治療	61
生産性	35	修繕	34
肥沃度	59		
治水	32		



人口 15130

<span style="color: green;">■</span> 農民	6700	<span style="color: orange;">■</span> 職人	1200
<span style="color: blue;">■</span> 商人	3200	<span style="color: white;">■</span> 傭兵	4030

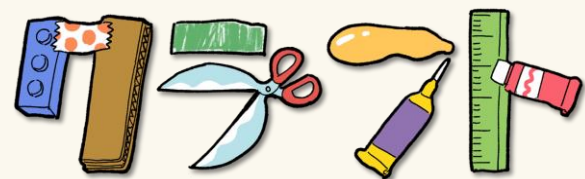
加入者



Jeanne D Napoleon B Johan G



# —— プロダクトづくりで大切にしていること

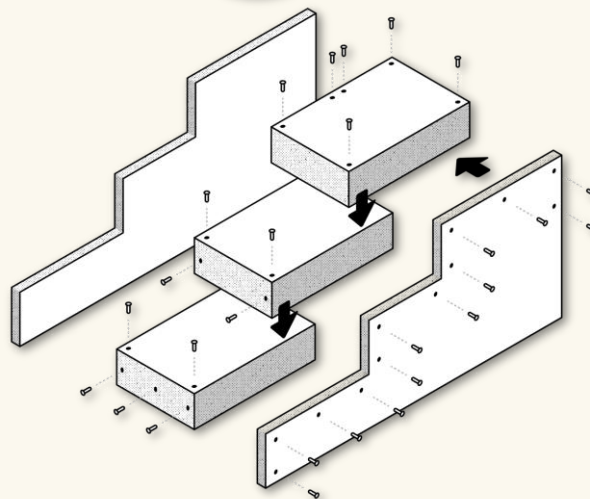


## 柔軟性に富んだシステム

ユーザーの使い方をサービス側がコントロールするのではなく、ニーズに応えられる汎用性を持つ。

ユーザーの創造力を誘発・促進し、それを受け止められるサービスを目指しています。

## ユニバーサルデザイン

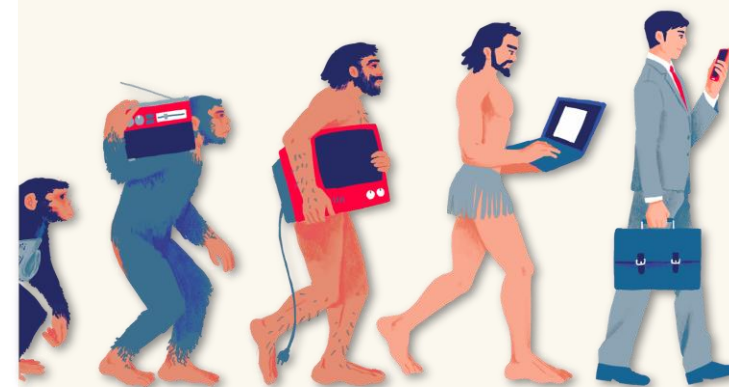


## 誰もが操作で迷わない

マニュアルを読まなくても、最初にまずは触ってみて、使い方や活用の仕方がわかる。

それほどに誰にとってもやさしく理解しやすい設計することを目指しています。

## TECH TREND



## トレンドを理解する

時代の変化によってユーザーの生活に密着しているテクノロジーは変化していきます。

未来の生活で使われるプロダクトを作るために、テクノロジーのトレンドを理解し、活用します。

# ディスクレーマー

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の業績に影響を与える要因としては、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

「事業計画及び成長可能性に関する事項」の更新は、本決算の発表に合わせて開示を行う予定です。ただし、財務数値及びKPI数値については四半期決算ごとに開示を行う予定です。

IRに関するお問い合わせ：[ir@kaonavi.jp](mailto:ir@kaonavi.jp)

